

第1章 高齢者等の現状と将来推計

1 宝塚市の人口等の現状と推計

(1) 総人口の推移

本市の人口はこれまで増加傾向で推移し、国勢調査では平成22年（2010年）現在の総人口は225,700人となり、平成2年（1990年）の201,862人から1.12倍増加している。

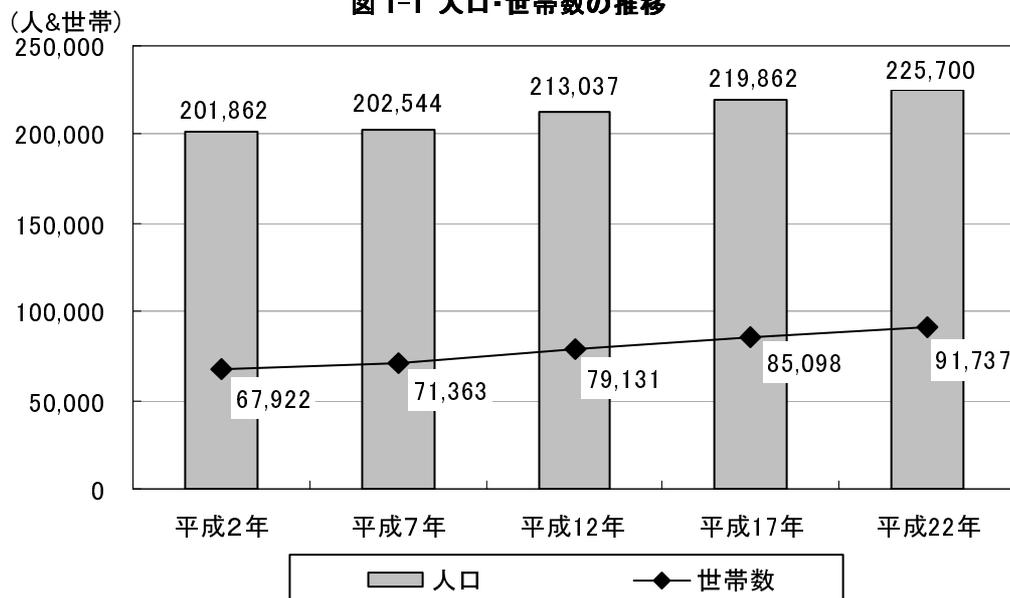
世帯数についても平成22年（2010年）現在91,737世帯となり、平成2年（1990年）の1.35倍増加している。一方で、年々世帯の小規模化が進行している。

表 1-1 人口の推移

(単位:人)

	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)
総数	201,862	202,544	213,037	219,862	225,700
男	96,806	96,581	100,740	103,495	105,289
女	105,056	105,963	112,297	116,367	120,411
40歳以上 65歳未満	70,154 34.8%	72,368 35.7%	73,995 34.7%	75,201 34.2%	78,239 34.7%
65歳以上	20,405 10.1%	25,353 12.5%	32,553 15.3%	41,121 18.7%	50,453 22.4%
男	8,523	10,801	14,069	17,841	21,824
女	11,877	14,552	18,484	23,280	28,629
うち75歳以上	7,837 3.9%	9,281 4.6%	12,403 5.8%	17,260 7.9%	22,500 10.0%
世帯数	67,922	71,363	79,131	85,098	91,737
一世帯あたり人数	2.97人	2.84人	2.69人	2.58人	2.46人

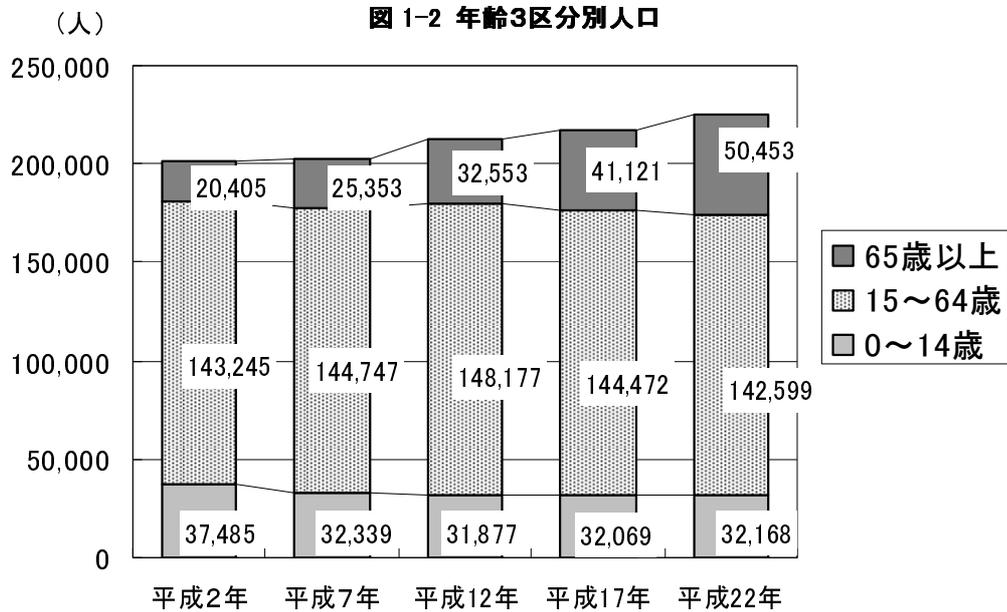
図 1-1 人口・世帯数の推移



資料：国勢調査人口

(2) 年齢3区分別人口

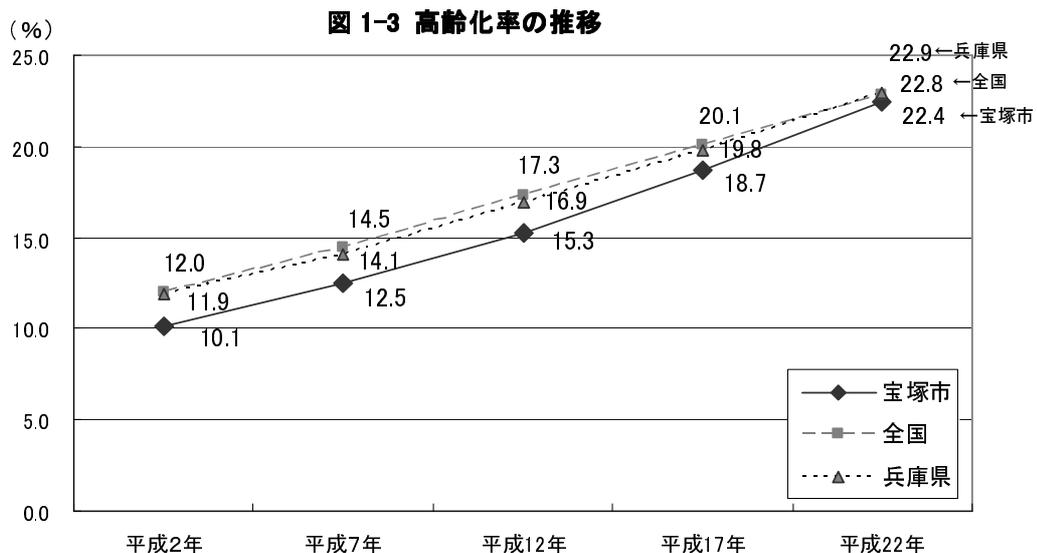
本市の0～14歳の年少人口は、平成2年（1990年）の37,485人が、平成22年（2010年）には32,168人にまで減少する一方、65歳以上の高齢者人口は、平成2年（1990年）には20,405人で、年少人口の約54%にすぎなかったが、増加の一途をたどり平成22年（2010年）には50,453人となり、年少人口の1.6倍となっている。



資料：国勢調査人口

(3) 高齢化率の推移

本市の高齢化率（65歳以上の高齢者人口の総人口に占める割合）は、兵庫県及び全国と比較すると、依然として下回る水準で推移しているが、平成2年（1990年）では兵庫県に比べて1.8ポイント低く推移していたのが、平成22年（2010年）ではその差が約0.5ポイントに縮小し、兵庫県平均や全国平均を上回るスピードで、高齢化が急速に進行している。



注) 割合は分母に年齢不詳を含む。

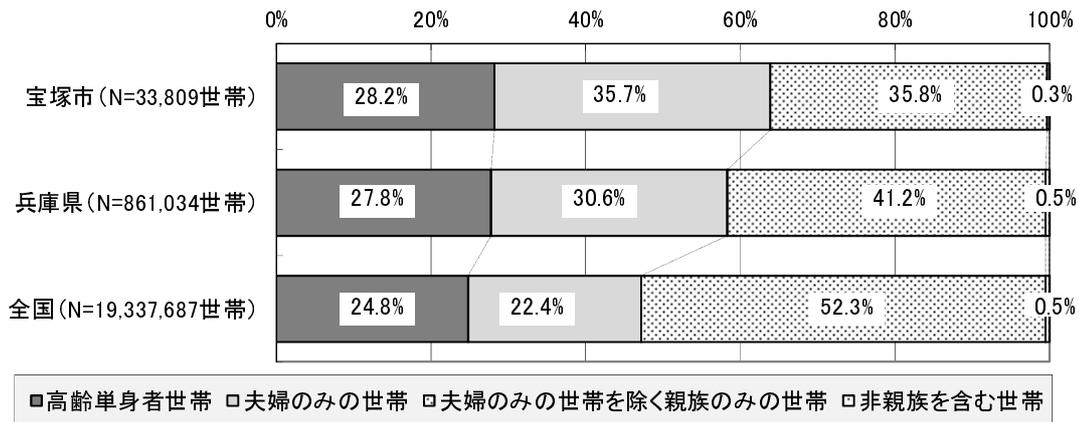
資料：国勢調査人口

2 高齢者世帯と家族介護の状況

(1) 高齢者世帯の家族構成

平成 22 年(2010 年)10 月 1 日現在、本市の高齢者のいる世帯の割合は、36.9%であり、全国値より 0.4 ポイント、兵庫県より 1.3 ポイント低くなっている。一方、高齢者のいる世帯のうち、高齢単身者世帯が 28.2%、夫婦のみの世帯が 35.7%と全国及び兵庫県に比べ、高齢単身者世帯、夫婦のみの世帯の割合は高くなっている。

図 1-4 高齢者親族のいる世帯の家族類型別構成比



資料：平成 22 年国勢調査結果

表 1-2 高齢者親族のいる世帯の家族類型(平成 22 年国勢調査)

地域	a 親族のみの世帯	うち、夫婦のみの世帯	b 高齢単身者世帯	c 非親族を含む世帯	高齢者のいる世帯数 (a+b+c)	一般世帯数	一般世帯に占める高齢者のいる世帯
宝塚市	24,155 (71.4%)	12,062 (35.7%)	9,537 (28.2%)	117 (0.3%)	33,809 (100%)	91,656	36.9%
兵庫県	617,876 (71.8%)	263,520 (30.6%)	239,227 (27.8%)	3,931 (0.5%)	861,034 (100%)	2,252,522	38.2%
全国	14442764 (74.7%)	4,339,235 (22.4%)	4,790,768 (24.8%)	104,155 (0.5%)	19,337,687 (100%)	51,842,307	37.3%

(参考)平成 17 年度国調における一般世帯に対する高齢者世帯の割合

地域	高齢単身者世帯	高齢夫婦世帯	65 歳以上の親族のいる世帯	一般世帯数
宝塚市	7,212 (8.6%)	9,553 (11.4%)	28,112 (33.7%)	83,448 (100.0%)
兵庫県	194,292 (9.1%)	226,316 (10.6%)	757,522 (35.6%)	2,128,963 (100.0%)
全国	3,864,778 (7.9%)	4,774,315 (9.7%)	17,204,473 (35.1%)	49,062,530 (100.0%)

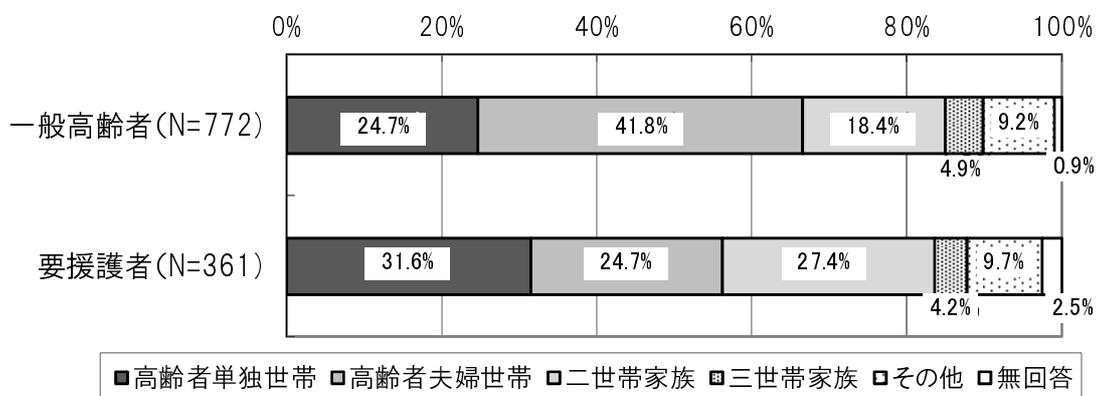
注) 高齢夫婦世帯とは、夫 65 歳以上妻 60 歳以上の 1 組の一般世帯

資料：国勢調査結果

また、宝塚市「一般高齢者調査」(平成 23 (2011 年)年 6 月実施)によると、高齢者単独世帯が 24.7%、高齢者夫婦世帯が 41.8%であり、高齢者夫婦世帯が増加している。さら

に、要援護者の家族構成をみると「高齢者単独世帯」が31.6%と一人暮らしの比率が高くなっている（図1-5参照）。

図1-5 一般高齢者および要援護者の家族構成



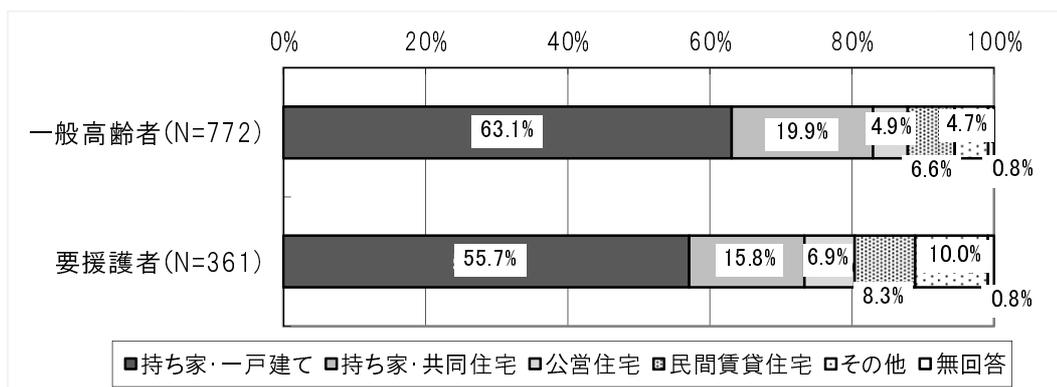
資料：宝塚市「一般高齢者調査」「在宅要援護者需要調査」（平成23年6月実施）

(2) 高齢者の住まい

宝塚市「一般高齢者調査」（平成23年（2011年）6月実施）によると、高齢者の住まいは、「持ち家・一戸建て」が63.1%と最も多く、次いで「持ち家・共同住宅」が19.9%となっており、8割以上が持ち家となっている。

また、要援護者の住まいも「持ち家・一戸建て」が55.7%と最も多く、次いで「持ち家・共同住宅」が15.8%となっており、7割以上が持ち家となっている。

図1-6 一般高齢者および要援護者の住まい

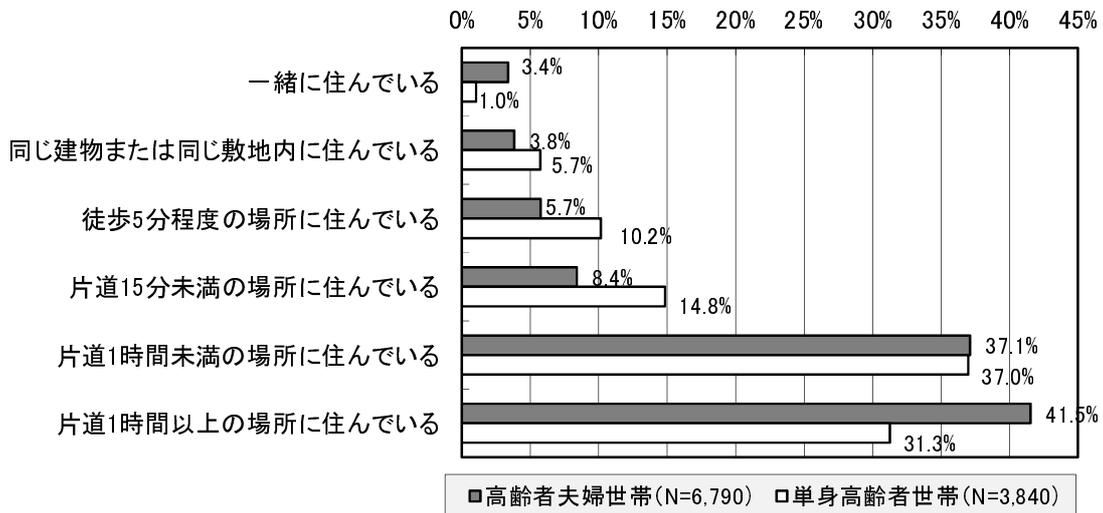


資料：宝塚市「一般高齢者調査」「在宅要援護者需要調査」（平成23年6月実施）

(3) 子どもの住まいとの距離

総務省統計局「住宅・土地統計調査報告」（平成20年（2008年））によると、わが国では別世帯となっている子どもが片道15分以内に住んでいる高齢者夫婦世帯は21.3%、単身高齢者世帯では31.7%となり、片道1時間未満および片道1時間以上に別世帯となっている子どもがいる高齢者が多くなっている。

図 1-7 子どもの住まいとの距離



資料 総務省統計局「住宅・土地統計調査報告」（平成20年）

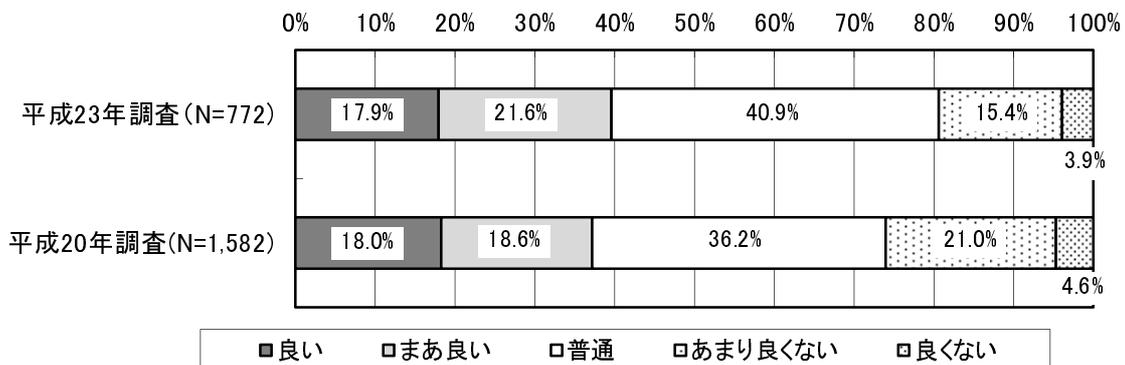
(4) 健康状態と日常生活の活動状態

宝塚市「一般高齢者調査」（平成23年（2011年）6月実施）によると、2割程度が健康状態を「あまり良くない」「良くない」としているが、8割程度は健康に問題なく過ごしている。

日常生活の活動状態は「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」が50.8%で最も多く、次いで「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる」が42.6%となっている。これらをあわせ日常生活に支障のない人は93.4%で、平成20年調査に比べて1.7ポイント上回っている（図1-9参照）。

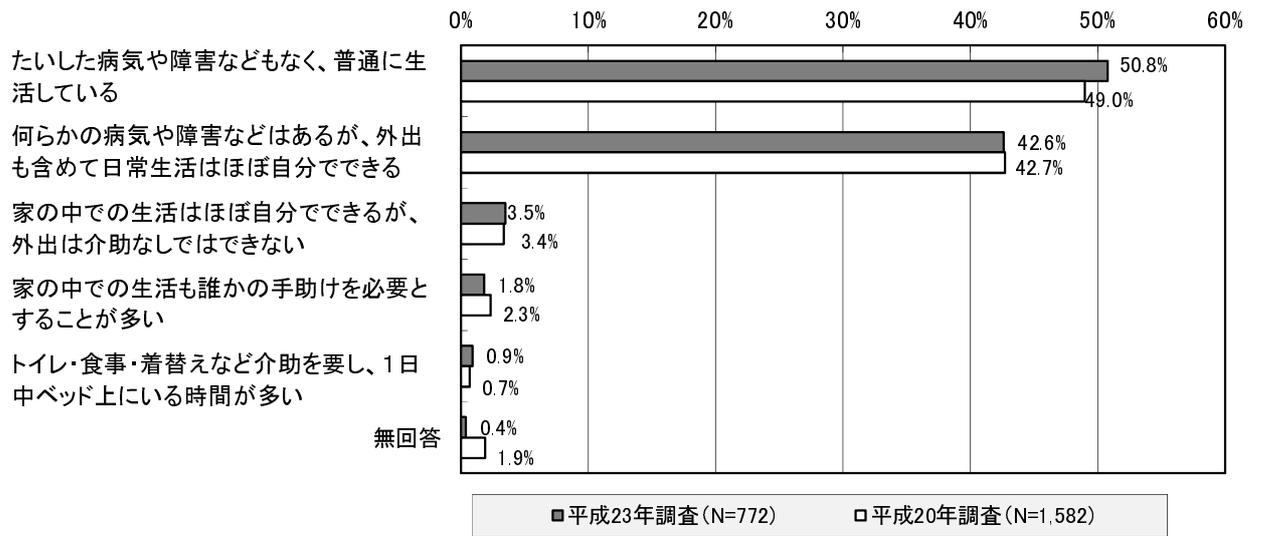
なお、かかりつけ医は、84.6%が有している（図1-10参照）。

図 1-8 健康状態



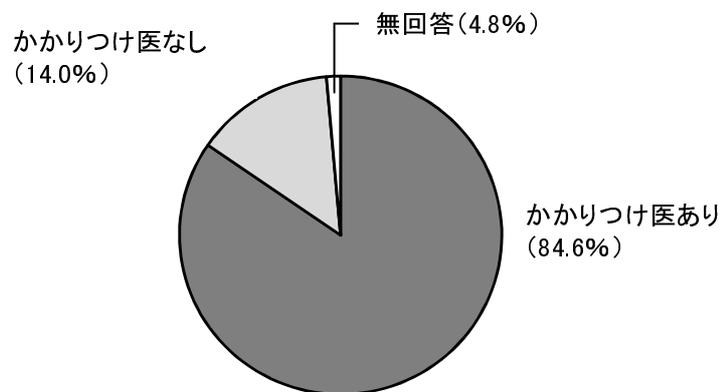
資料：宝塚市「一般高齢者調査」（平成23年6月、平成20年7月実施）

図 1-9 日常生活の活動状態



資料：宝塚市「一般高齢者調査」（平成 23 年 6 月、平成 20 年 7 月実施）

図 1-10 かかりつけ医の有無

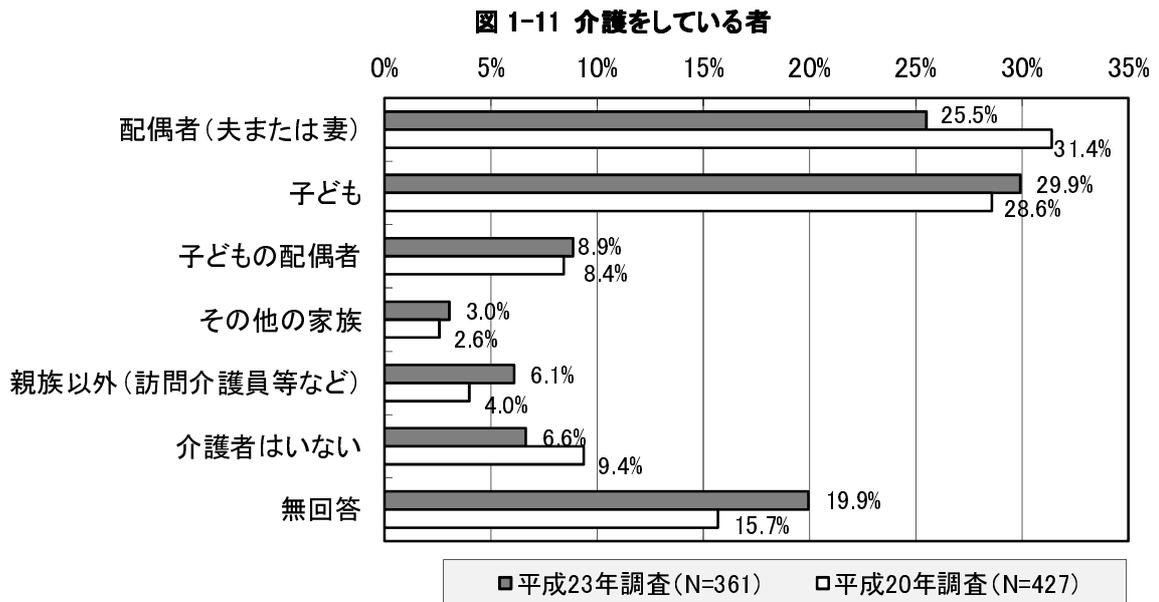


資料：宝塚市「一般高齢者調査」（平成 23 年 6 月実施）

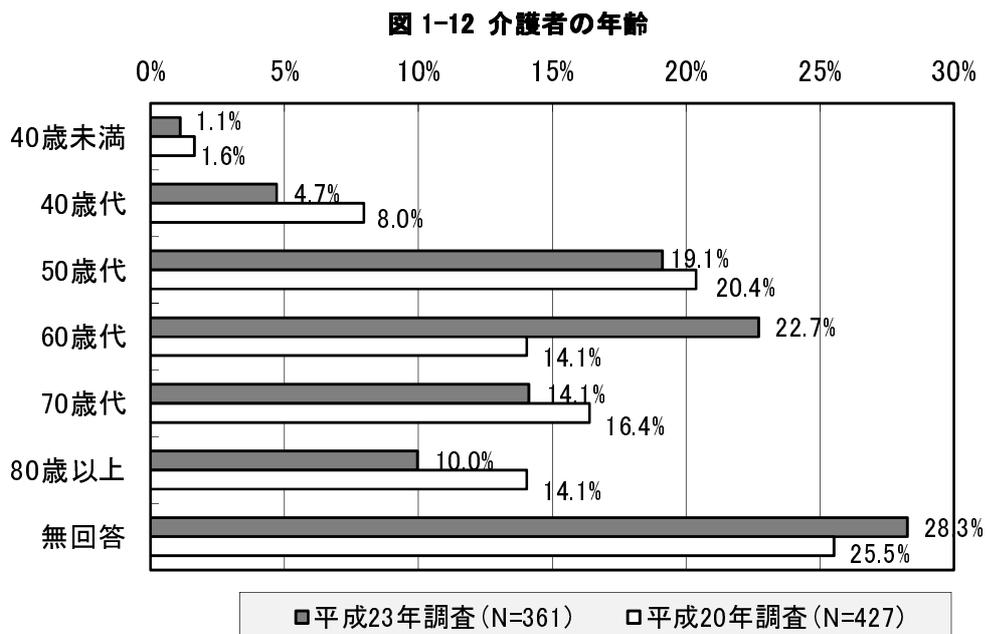
(5) 家族介護者

宝塚市「在宅要援護者需要調査」(平成23年(2011年)6月実施)によると、本市の主な介護者は「子ども」が29.9%と最も多く、次いで「配偶者」が25.5%、「子どもの配偶者」が8.9%で、「配偶者」「子ども」「子どもの配偶者」を合わせた「親族」が64%となっている。

介護者の年齢は、「60歳代」が22.7%と最も多く、次いで「50歳代」が19.1%、70歳代が14.1%、「80歳以上」が10.0%となっている。



資料：宝塚市「在宅要援護者需要調査」(平成23年6月実施、平成20年7月実施)



資料：宝塚市「在宅要援護者需要調査」(平成23年6月実施、平成20年7月実施)

3 被保険者等の現状と将来推計

(1) 被保険者の推移と将来推計

我が国が人口減社会に突入した中で、本市においては、平成 37 年（2025 年）頃までは、人口の微増傾向となるものと推計される。

また、本市の高齢化は今後進展し、平成 23 年（2011 年）では高齢化率 22.1%であったものが、平成 26 年（2014 年）には、24.8%、平成 37 年（2025 年）には、29.7%となる見込みである。

平成 23 年（2011 年）の 40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者の数は、約 8 万 1 千人で、今後も同人口前後で推移すると見込まれる。一方、65 歳以上の第 1 号被保険者の数は、年々増加しており、今後も増加していくことが見込まれる。

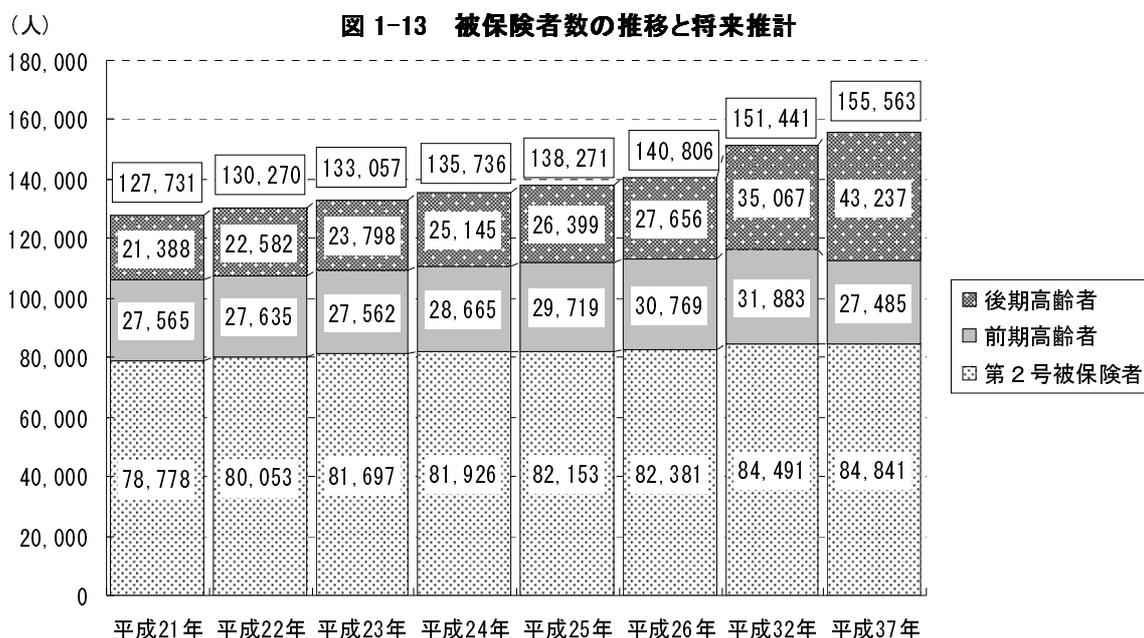


表 1-3 被保険者数の推移と将来推計

(単位：人)

(年)	第4期			第5期			(参考)		
	平成 21 年 (2009)	平成 22 年 (2010)	平成 23 年 (2011)	平成 24 年 (2012)	平成 25 年 (2013)	平成 26 年 (2014)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	
総人口	230,513	231,763	232,903	233,691	234,477	235,263	238,045	238,136	
高齢化率	21.2%	21.7%	22.1%	23.0%	23.9%	24.8%	28.1%	29.7%	
第2号被保険者 (40歳～65歳未満)	78,778	80,053	81,697	81,926	82,153	82,381	84,491	84,841	
第1号 被保険者	前期 (65～75歳未満)	27,565	27,635	27,562	28,665	29,719	30,769	31,883	27,485
	後期 (75歳以上)	21,388	22,582	23,798	25,145	26,399	27,656	35,067	43,237
第1号小計	48,953	50,217	51,360	53,810	56,118	58,425	66,950	70,722	
被保険者計	127,731	130,270	133,057	135,736	138,271	140,806	151,441	155,563	

※平成 21 年～平成 23 年の総人口、第 2 号被保険者は、住民基本台帳及び外国人登録人口（各年 10 月 1 日現在）

※平成 21 年～平成 23 年の第 1 号被保険者は、各年 10 月 1 日現在

※平成 24 年以降の人口は、平成 18 年から 23 年の実績人口からコーホート要因法*により算出。

(2) 要介護(要支援)認定者の推移と現状

平成23年(2011年)3月末現在、本市の65歳以上の要介護(要支援)認定者数は8,527人であり、65歳以上の高齢者人口の16.9%となっている。認定者数の伸び率は年々増加し、平成22年度(2010年度)は介護保険が導入された平成12年度の2.2倍となっている。これは平成12年度(2000年度)と平成22年度(2010年度)の高齢者人口の伸び率約1.6倍と比較すると、高い伸びとなっている。

また、従来、軽度者(支援1、支援2、要介護1の認定者)の構成比率が約53%を占めているが、近時は、要介護5も増えてきている。

図 1-14 介護度別認定者数の推移 (第1号被保険者)

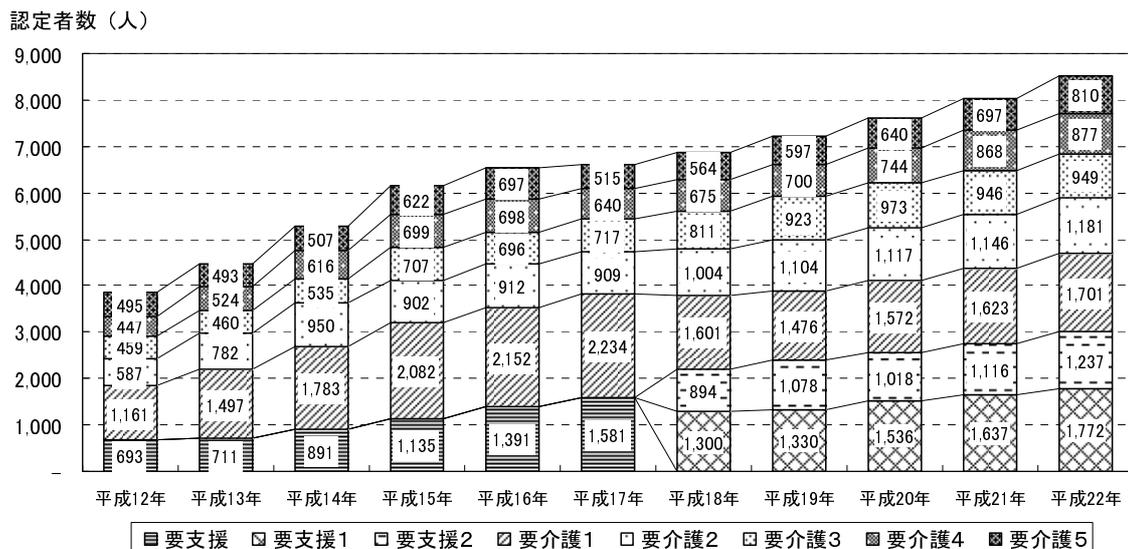


表 1-4 要介護(要支援)認定者数の推移 (第2号被保険者を含む)

(単位:人)

(年度)	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
第1号被保険者	3,842	4,467	5,282	6,147	6,546	6,596	6,849	7,208	7,600	8,033	8,527
第2号被保険者	126	144	160	183	203	231	211	221	202	184	205
合計	3,968	4,611	5,442	6,330	6,749	6,827	7,060	7,429	7,802	8,217	8,732
12年比伸び率(宝塚市)	100.0%	116.2%	137.1%	159.5%	170.1%	172.1%	177.9%	187.2%	196.6%	207.1%	220.1%
全国計	2,557,197	2,981,883	3,443,610	3,838,510	4,087,112	4,322,708	4,400,477	4,527,420	4,672,808	4,847,383	5,059,290
12年比伸び率(全国)	100.0%	116.6%	134.7%	150.1%	159.8%	169.0%	172.1%	177.0%	182.7%	189.6%	197.8%
認定率(宝塚市)	11.3%	12.5%	14.1%	15.7%	16.1%	15.6%	15.4%	15.6%	15.7%	16.1%	16.9%

※各年度3月末現在、全国は厚労省介護保険事業状況報告(暫定)参照
認定率は、65歳以上人口に対する要介護(要支援)認定者の割合を表した指標

(3) 要介護(要支援)認定者の将来推計

要介護（要支援）認定者数は、平成 24 年度（2012 年度）には 9,534 人、平成 25 年度（2013 年度）には 10,123 人、平成 26 年度（2014 年度）には、平成 23 年度（2011 年度）の 9,222 人の約 16% 増の 10,680 人が見込まれる。

図 1-15 要介護(要支援)認定者数の推移と将来推計

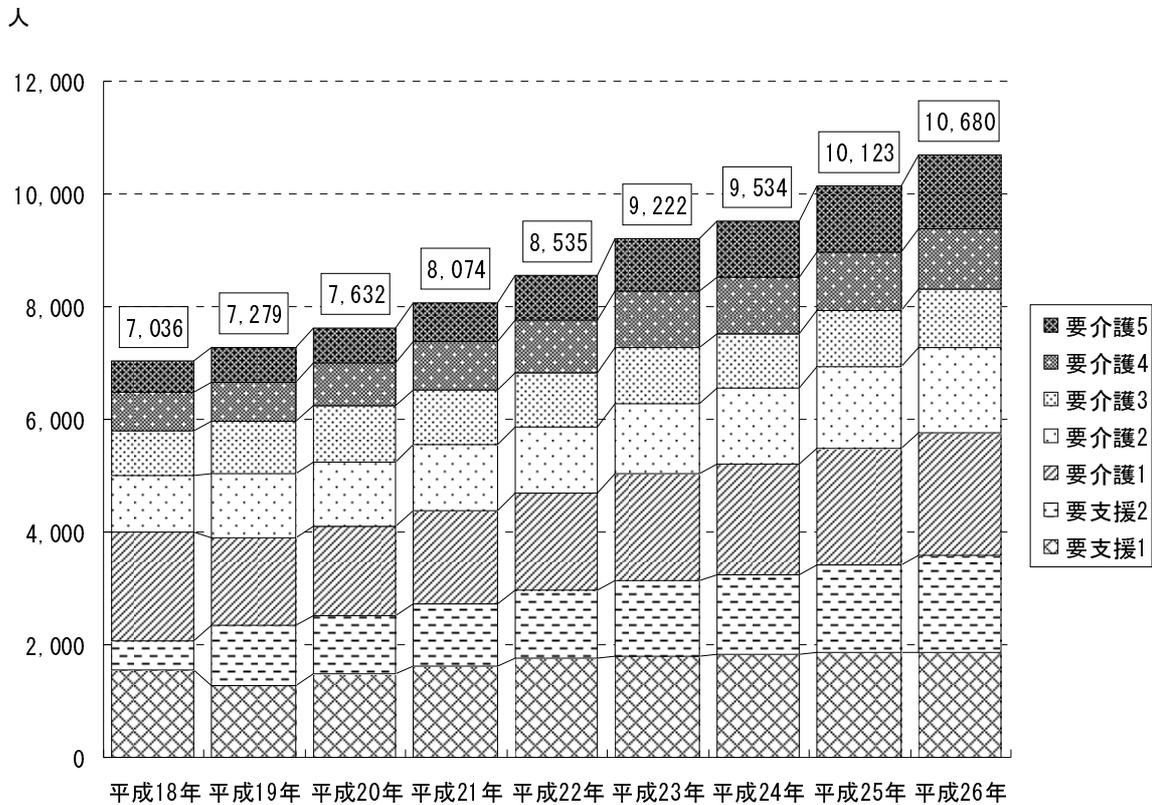


表 1-5 要介護（要支援）認定者数の推移と将来推計

(単位：人)

(年度)		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
第3期	平成18	1,543	538	1,921	996	796	679	563	7,036
	平成19	1,288	1,042	1,583	1,114	933	698	621	7,279
	平成20	1,470	1,054	1,595	1,123	1,009	740	641	7,632
第4期	平成21	1,611	1,100	1,653	1,187	981	843	699	8,074
	平成22	1,775	1,207	1,716	1,160	967	933	777	8,535
	平成23	1,799	1,340	1,887	1,239	1,017	1,005	935	9,222
第5期	平成24	1,825	1,432	1,933	1,354	990	987	1,013	9,534
	平成25	1,845	1,572	2,064	1,452	1,013	1,008	1,169	10,123
	平成26	1,864	1,725	2,153	1,542	1,025	1,055	1,316	10,680

※平成 18～23 年度は実績（各年度 10 月 1 日現在）
 ※平成 24 年度以降は推計
 ※第 2 号被保険者含む

4 アンケート調査結果にみる高齢者の現状とニーズ

(1) 在宅要援護者需要調査の概要

在宅要援護者需要調査の概要を整理すると下表のとおりである。

表 1-6 在宅要援護者需要調査結果の概要

項目	調査結果	特徴
家族の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人暮らし」が 31.6%、「高齢者夫婦世帯」が 24.7%であり、20 年度調査に比べて、「一人暮らし」世帯が 12.9%増加している。一方、「高齢者夫婦世帯」は 13.9%減少している。 ・また介護者の年齢は、約半数が、60 歳以上と老老介護。 	○「一人暮らし」世帯の増加
心配事、不安 日常生活の	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康」(50.6%)、「外出」(36.4%)、「認知症*」(33.9%)など、日常生活の心配事や不安を有している。 ・20 年度調査に比べて「健康」への不安は 9.5%減少しているものの「認知症」への不安は 13.8%増加している。 	○「認知症」への不安が増加
心配事、不安 の相談相手	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども」が 62.6%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」の 31.9%、「配偶者」の 25.5%となっており、在宅要支援者にとって、心配事、不安の相談相手としてケアマネジャーの役割が大きい。 	○ケアマネジャーの役割が大きい
介護サービスの満足状況	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの内容・質に対しては、76.1%が満足しているが、「サービスの手際が悪いなどの技術が劣っている」「通所サービスのレクリエーション等の内容に不満」「居宅サービス担当者がよく変わる」といった不満も見られる。 ・介護サービスの量に対しては、68.5%が満足しているが、「支給限度額が低額であるため、1 回あたりの時間や回数に制限がある」「事業者の理由により、1 回あたりの時間や回数に制限がある」といった不満も見られる。 ・現在利用している居宅介護支援事業者に対しては、76.1%が満足しているが、「ケアプランの目標や内容について、わかりやすく説明されていない」「ケアプランを作成する際に、こちらの意向が十分反映されていない」といった不満も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護サービスの内容・質に対しては、76.1%が満足。 ○居宅介護支援事業者に対しては、76.1%が満足。
介護を受けたい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、介護を受けたい場所としては、「現在の居宅」が、60.4%と最も多く、次いで「介護保険施設」(15.5%)、「有料老人ホーム*・ケアハウス*」(5.3%)などとなっている。 	○将来、介護を受けたい場所は、6 割が「現在の居宅」
在宅生活を継続するために必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活を継続するために必要なこととしては、 <ol style="list-style-type: none"> ①「かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者等が相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられるようになること」(69.3%) ②「地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること」(57.4%) ③「緊急時、夜間帯に訪問介護サービスが利用できること」(57.0%) などがあげられている。 	○保健・医療・福祉が連携した居宅サービスを要望

(2)一般高齢者調査の概要

一般高齢者調査の概要を整理すると下表のとおりである。

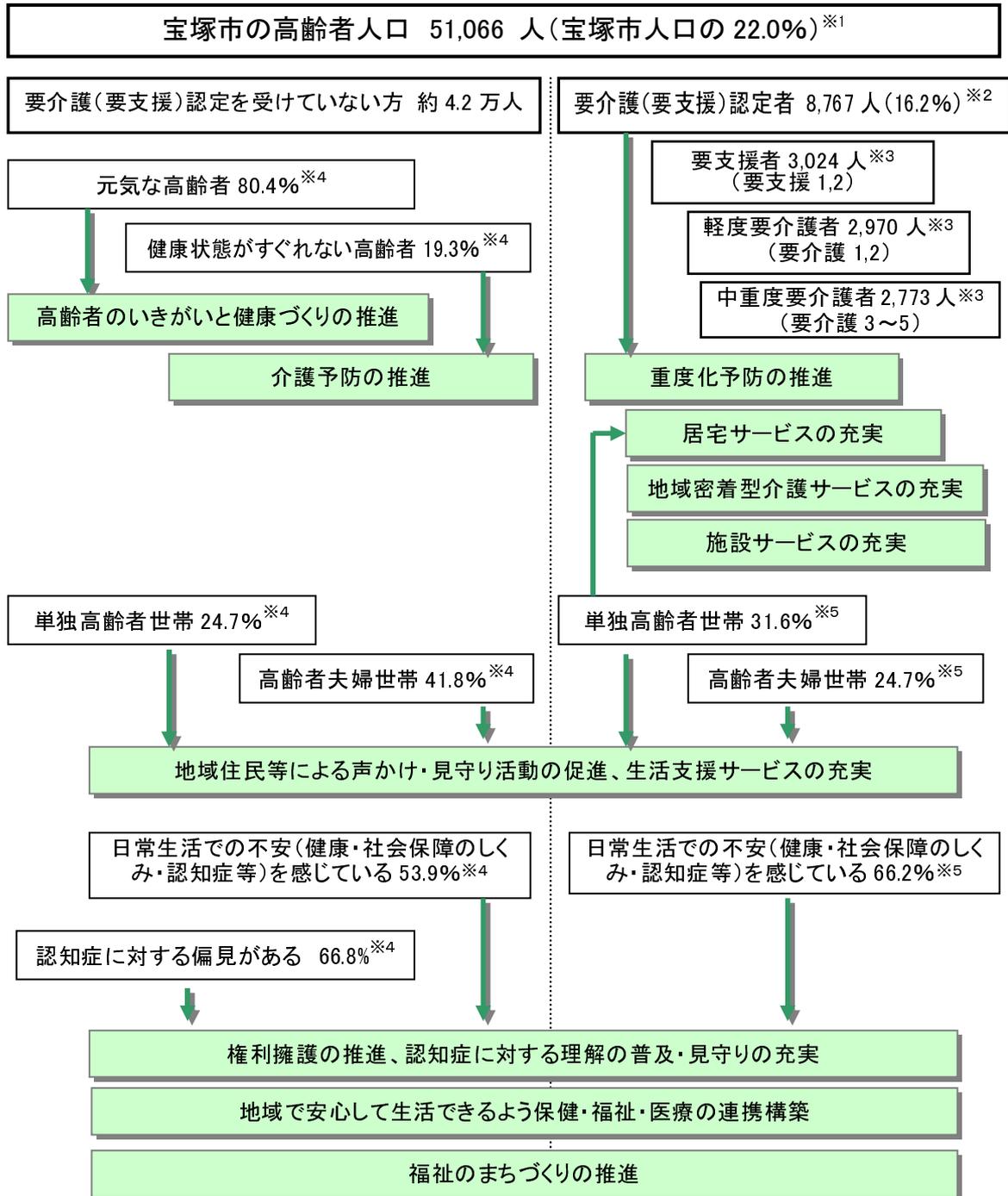
表 1-7 一般高齢者調査結果の概要

項目	調査結果	特徴
家族の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人暮らし」が 24.7%、「高齢者夫婦世帯」が 41.8%であり、20 年度調査に比べて、「一人暮らし」世帯が 2.2%増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「一人暮らし」世帯の増加
健康状態	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の 80.4%は健康に問題なく過ごしており、20 年度調査に比べて 7.6%増加している。 ・体を動かすことを 7 割以上の高齢者は行っているが、3 割の高齢者は、十分には行っていない。 ・頭の老化防止を 7 割以上の高齢者は行っているが、2 割の高齢者は、十分には行っていない。 ・6 割程度の高齢者は、ほぼ毎日外出しているが、1 割の高齢者はあまり外出していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○8 割の高齢者は、健康に問題なく過ごしている。 ○3 割の高齢者は、体を動かすことに、2 割の高齢者は、頭の老化防止が不十分 ○1 割の高齢者が、閉じこもりがち
日常生活の心配事、不安	<ul style="list-style-type: none"> ・20 年度調査に比べて 8.8%減少しているものの、5 割以上の高齢者が日常生活の心配事、不安を有している。 ・心配事・不安の内容としては、「健康」(60.6%)、「社会保険の仕組みが変わること」(37.3%)、「認知症」(35.8%)など。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5 割以上の高齢者が日常生活の心配事、不安をもつ
介護が必要となった際の要望	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来介護が必要になっても、自宅で、あるいは子どもの家に同居して生活を続けたい」が 46.8%。「介護が必要になって生活が困難になれば、介護の付いている住まいや施設に移りたい」が 37.7%。 ・住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が 59.3%。 ・在宅生活を継続するために必要なこととしては、 <ol style="list-style-type: none"> ①「かかりつけの医師やケアマネジャー、介護サービス事業者等が相互に連携を取りながら、本人に最も適した介護が受けられるようになること」(78.3%) ②「緊急時、夜間帯に訪問介護サービスが利用できること」(75.2%) ③「地域の身近なところで安心して利用できる相談員や相談窓口があること」(70.9%) などとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5 割近くの高齢者の将来、介護を受けたい場所は、「現在の居宅」 ○6 割近くの高齢者が、必要に応じて住宅改修を望む ○保健・医療・福祉が連携した居宅サービスを要望
認知症について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の 66.8%が、認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあるとしている。 ・認知症になった時に生活したい場所は「自宅」が 31.1%。「特別養護老人ホーム*・老人保健施設」が 24.7%。 ・認知症の方が住み慣れた地域で生活続けるために必要な支援については、 <ol style="list-style-type: none"> ①「認知症の方が一時的に入所して介護を受けられる施設(ショートステイ)」(43.1%) ②「デイサービスと訪問介護の充実」(40.0%) ③「認知症の方を自宅で介護する家族のための相談体制」(37.3%) などとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人は、偏見を持って見られる傾向にある。 ○4 割以上の高齢者が「ショートステイ」や「デイサービスと訪問介護の充実」「相談体制の充実」を望んでいる。

(3) 高齢者の現状と対応課題

要介護（要支援）認定者の有無や家族構成、高齢者ニーズ調査などでみた本市高齢者の現状と対応課題を整理すると以下のとおりである。

図 1-16 高齢者の現状と対応課題



※1 住民基本台帳及び外国人登録人口（平成 23 年 7 月 1 日現在）より

※2 住民基本台帳及び外国人登録人口（平成 23 年 7 月 1 日現在）より、同時期の要介護（要支援）認定者（第 1 号被保険者）数を除いた数値

※3 要介護（要支援）認定者（第 1 号被保険者）数（平成 23 年 7 月 1 日現在）

※4 宝塚市「一般高齢者調査」結果より

※5 宝塚市「在宅要介護者需要調査」結果より

5 日常生活圏域の現況

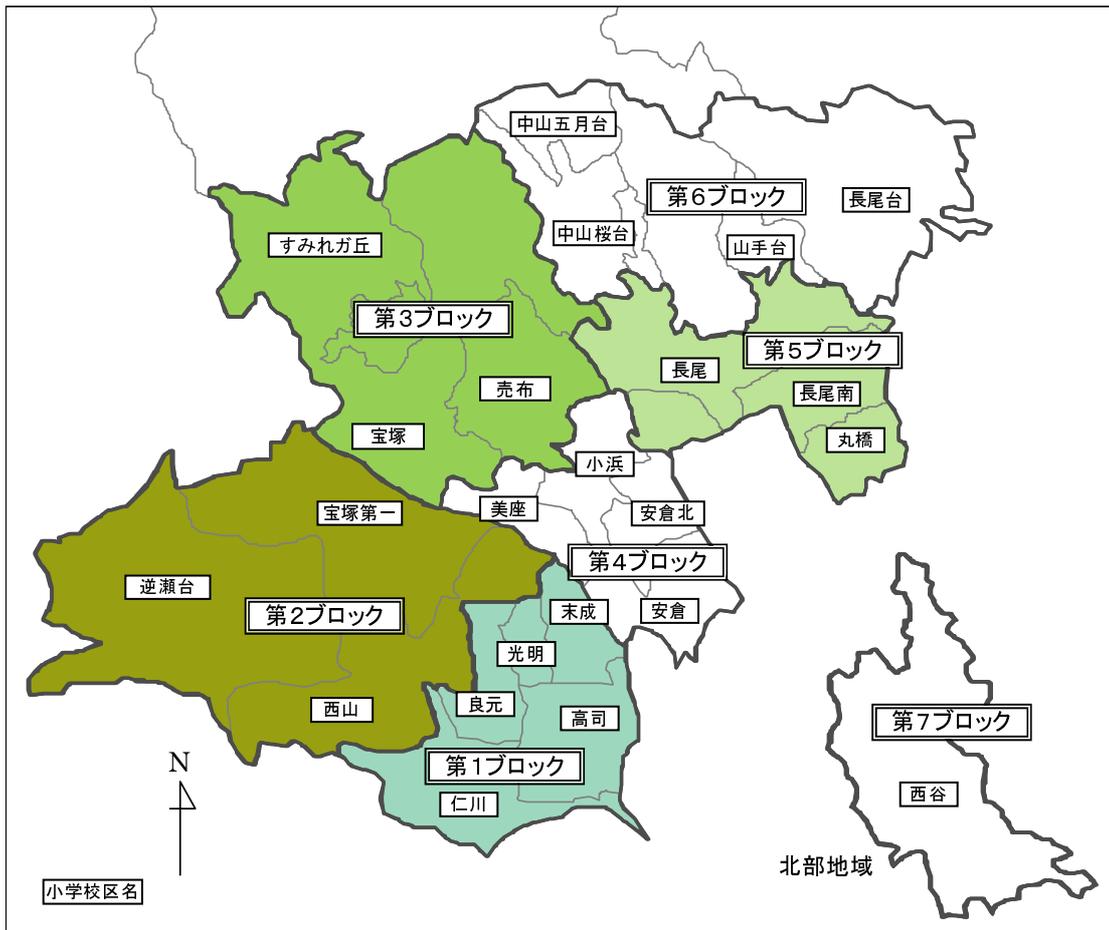
(1) 日常生活圏域の現況

「日常生活圏域」とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、人口・地理的条件、交通事情や社会的条件、介護サービス施設の整備状況やまちづくり活動の単位などを総合的に勘案し、地域の特性に応じて設定したものである。

本市では、第3期（平成18年（2006年）4月）の計画策定以降、小学校区の区域と地域の主な特性を考慮して日常生活圏域を7圏域と定め、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、身近なところでのサービス提供をめざして、圏域内の様々な社会資源の連携体制の強化を進めてきた。

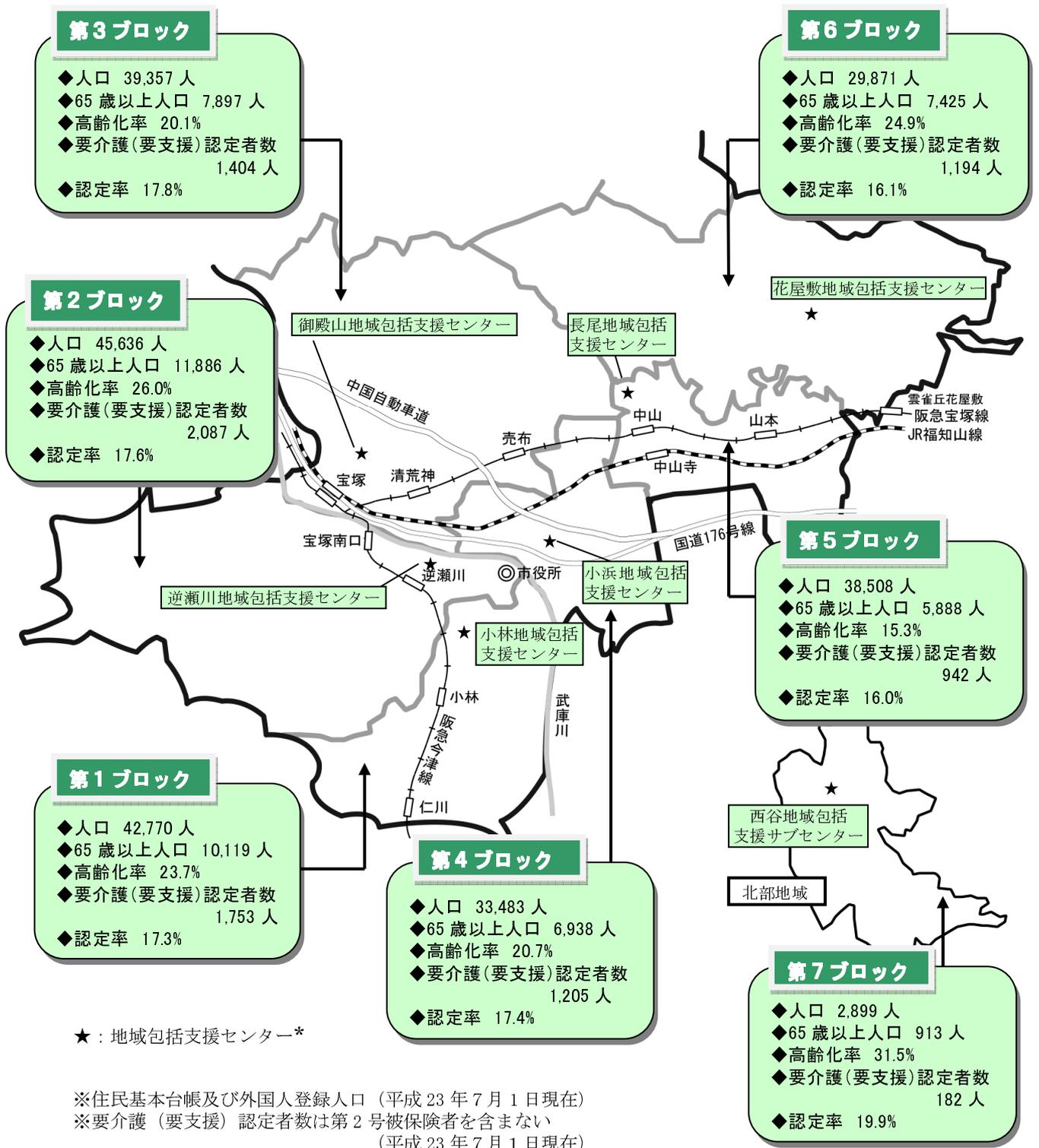
今後も、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、圏域における高齢者の実態把握や地域ケアの充実に努める。

図 1-17 日常生活圏域



日常生活圏域名	地域(小学校区名)
第1ブロック	仁川・末成・高司・良元・光明小学校区
第2ブロック	末広・宝塚第一・西山・逆瀬台小学校区
第3ブロック	宝塚・すみれガ丘・売布小学校区
第4ブロック	小浜・美座・安倉・安倉北小学校区
第5ブロック	長尾・長尾南・丸橋小学校区
第6ブロック	山手台・長尾台・中山五月台・中山桜台小学校区
第7ブロック	西谷小学校区

図 1-18 日常生活圏域の現況

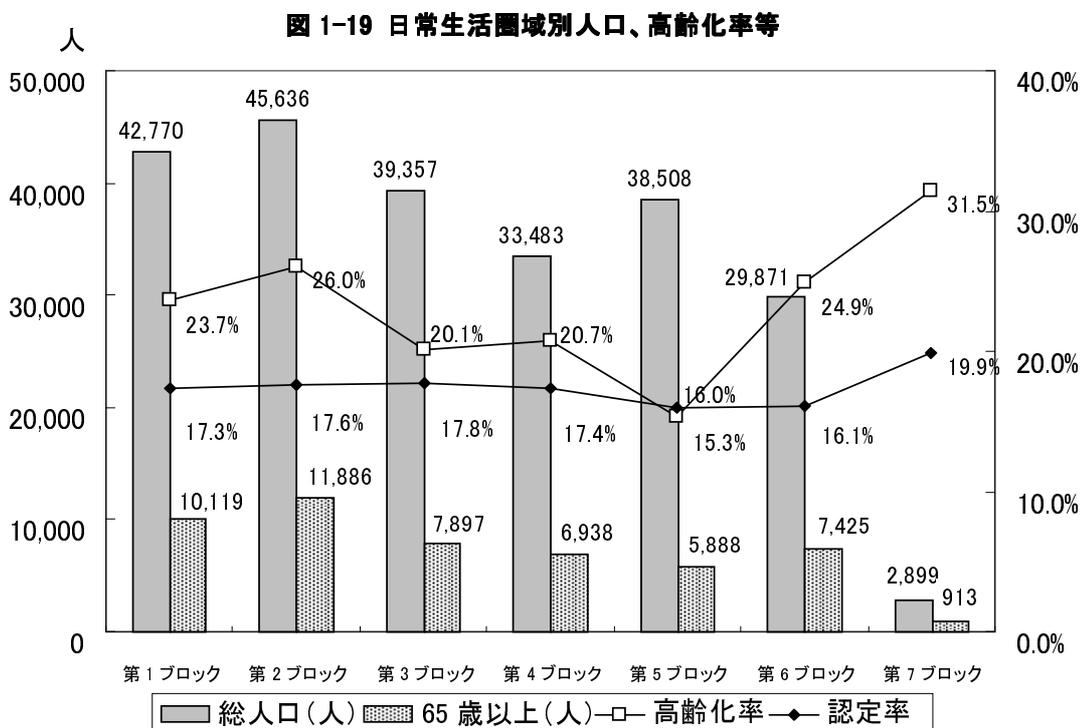


最も人口規模の大きな圏域は、第 2 ブロックの 45,636 人（65 歳以上人口 11,886 人）であり、最も人口規模の小さな圏域は第 7 ブロックの 2,899 人（65 歳以上人口 913 人）となっている。

高齢化率の最も高い圏域は、第 7 ブロックの 31.5%であり、次いで「第 2 ブロック」の

26.0%、「第6ブロック」の24.9%である。

また、要介護（要支援）認定率の高い圏域は、第7ブロックの19.9%であり、次いで第3ブロックの17.8%、第2ブロックの17.6%となっている。



※住民基本台帳及び外国人登録人口（平成23年7月1日現在）
 ※要介護（要支援）認定者数は第2号被保険者を含まない（平成23年7月1日現在）

表 1-8 日常生活圏域別要介護（要支援）認定者数

日常生活圏域	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1ブロック	310	256	345	255	210	209	168	1,753
	17.7%	14.6%	19.7%	14.5%	12.0%	11.9%	9.6%	100.0%
第2ブロック	462	325	392	281	229	195	203	2,087
	22.1%	15.6%	18.8%	13.5%	11.0%	9.3%	9.7%	100.0%
第3ブロック	319	206	287	163	173	129	127	1,404
	22.7%	14.7%	20.4%	11.6%	12.3%	9.2%	9.0%	100.0%
第4ブロック	227	168	257	180	136	118	119	1,205
	18.8%	13.9%	21.3%	14.9%	11.3%	9.8%	9.9%	100.0%
第5ブロック	192	132	199	129	88	104	98	942
	20.4%	14.0%	21.1%	13.7%	9.3%	11.0%	10.4%	100.0%
第6ブロック	220	162	233	177	116	164	122	1,194
	18.4%	13.6%	19.5%	14.8%	9.7%	13.7%	10.2%	100.0%
第7ブロック	22	23	38	34	21	26	18	182
	12.1%	12.6%	20.9%	18.7%	11.5%	14.3%	9.9%	100.0%
総計	1,752	1,272	1,751	1,219	973	945	855	8,767
	20.0%	14.5%	20.0%	13.9%	11.1%	10.8%	9.8%	100.0%

※平成23年7月1日現在 第2号被保険者を含まない

(2) 日常生活圏域別高齢者等の現況

本市は、西側を六甲山系、北側を北摂長尾連山に接する丘陵地と篠山盆地に源を発する武庫川により形作られた平野部であるという地勢的な特徴を有している。平野部に市街地が形成され、丘陵地は、自然に恵まれた閑静な居住地となっている。また北部の西谷地域は、自然豊かな都市近郊農業地域である。

昭和50年(1975年)代以前に開発された住宅地では、高齢化が進展するとともに、山手に居住する高齢者にとっては、日常の外出時の移動が阻害され、閉じこもりがちな高齢者も多い。

以下、日常生活圏域ニーズ調査結果等に基づき、日常生活圏域別の高齢者の特徴等について示す。

表 1-9 日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

項 目		市全体 (N=2905)	第1ブ ック (N=445)	第2ブ ック (N=431)	第3ブ ック (N=433)	第4ブ ック (N=410)	第5ブ ック (N=408)	第6ブ ック (N=426)	第7ブ ック (N=352)
家族・住居	一人暮らしの割合	22.9%	26.5%	24.4%	24.5%	26.3%	19.1%	23.7%	13.9%
	一人暮らしを除く 2人世帯の割合	53.6%	55.9%	59.9%	59.1%	54.1%	51.5%	58.9%	32.8%
	持ち家率	79.3%	77.1%	76.3%	82.2%	72.2%	78.4%	84.7%	85.2%
介助・介護の 必要度	介助・介護を必要と しない割合	71.1%	68.1%	75.9%	73.4%	66.3%	75.2%	77.2%	59.7%
	介助・介護を必要と する割合	16.2%	16.6%	13.9%	16.4%	20.5%	13.5%	12.7%	20.7%
	通院の介助の必要 性	12.2%	12.7%	8.0%	12.4%	13.7%	9.2%	10.2%	21.0%
健康状況	健康と思う割合	76.5%	74.8%	81.7%	76.0%	70.0%	75.7%	80.5%	76.5%
	家事のできる割合	76.0%	75.3%	79.1%	78.3%	72.7%	80.9%	80.5%	63.1%
	通院している割合	77.4%	77.8%	78.2%	79.9%	78.3%	77.5%	76.3%	73.0%
外出の状況	週1回以上外出す る割合	86.6%	88.5%	88.9%	87.8%	88.0%	89.2%	91.3%	69.9%
	外出を控えている 割合	25.6%	25.6%	20.2%	29.6%	30.2%	23.3%	22.1%	29.0%
	昨年と比べて外出 回数が減っている 割合	34.0%	34.2%	30.6%	35.8%	39.5%	35.0%	28.4%	34.7%
地域活動	地域活動等に参加 している割合	52.0%	50.5%	46.9%	46.5%	45.3%	49.3%	55.7%	73.0%
	地域活動等に参加 していない割合	41.8%	41.3%	45.7%	48.7%	47.8%	44.1%	40.8%	20.5%
仕事・趣味等	仕事を持つ割合	16.9%	15.7%	16.7%	14.5%	17.8%	18.4%	17.1%	18.5%
	趣味を持つ割合	80.4%	78.2%	84.7%	81.5%	73.7%	80.9%	87.6%	75.3%
	いきがいを持つ割 合	77.9%	76.4%	77.7%	80.4%	70.2%	81.4%	81.7%	77.6%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」(平成23年6月実施)

ア 第1ブロック

《地域の概要》

第1ブロックは、本市南部の武庫川右岸に広がる地域であり、阪急今津線の沿線地域である。阪急今津線の東側は、商業住宅地域と本市唯一の工業地域を有し、西側には住宅地が形成されている。

本市人口の18.4%、高齢者人口の19.8%(うち後期高齢者*23.1%)を占め、第2ブロックに次いで人口および高齢者人口の多い地域である。

高齢化率は、23.7%と市の平均を1.7ポイント上回っており、17.3%の高齢者が要介護(要支援)の認定を受けている。

図1-20 第1ブロック位置図



◆高齢者の人口等(第1ブロック)

項目	第1ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	42,770人	232,524人	18.4%
65歳以上人口	10,119人	51,066人	19.8%
前期高齢者	4,669人	27,424人	17.0%
後期高齢者	5,450人	23,642人	23.1%
高齢化率	23.7%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	12.7%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	1,753人	8,767人	20.0%
認定率	17.3%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が 26.5%、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が、55.9%といずれも市平均を上回っている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は、68.1%で、一方、介護・介助が必要な高齢者は、16.6%となっている。

◆高齢者の特徴(第1ブロック)

項 目		第1ブロック (N=445)	市全体 (N=2,905)	項 目		第1ブロック (N=445)	市全体 (N=2,905)
家族・住居	一人暮らしの割合	26.5%	22.9%	介助・介護の 必要度	介助・介護を必要としない割合	68.1%	71.1%
	一人暮らしを除く 2人世帯の割合	55.9%	53.6%		介助・介護を必要とする割合	16.6%	16.2%
	持ち家率	77.1%	79.3%		通院の介助の必要性	12.7%	12.2%
健康状況	健康と思う割合	74.8%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	88.5%	86.6%
	家事のできる割合	75.3%	76.0%		外出を控えている割合	25.6%	25.6%
	通院している割合	77.8%	77.4%		昨年と比べて外出回数が減っている割合	34.2%	34.0%
地域活動	地域活動等に参加している割合	50.5%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	15.7%	16.9%
	地域活動等に参加していない割合	41.3%	41.8%		趣味を持つ割合	78.2%	80.4%
					いきがいを持つ割合	76.4%	77.9%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」(平成23年6月実施)

7割以上の高齢者は、健康であることを自覚し、9割近くが週1回以上、外出しているが、一人暮らしの高齢者世帯が多い地域であり、より一層の高齢者の見守り活動を展開するとともに、高齢者の閉じこもり予防といきがいづくり活動を活発化していくことが必要である。

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第1ブロック)

種 別		施設名(定員数)
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	—
	認知症対応型共同生活介護	・グループホームはる仁川(9) ・グループホームたのしい家仁川(18) ・グループホーム宝塚ちどり(18) ・グループホームケアホーム宝塚(9)
	認知症対応型通所介護	・グループホームケアホーム宝塚(3)
	夜間対応型訪問介護	—
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設サービス	・宝塚ちどり(100)
	介護老人保健施設サービス	・ケアヴィラ宝塚(100)
	介護療養施設サービス	・岩津外科胃腸科クリニック(2)
	特定施設入居者生活介護	・くらら仁川(42)

イ 第2ブロック

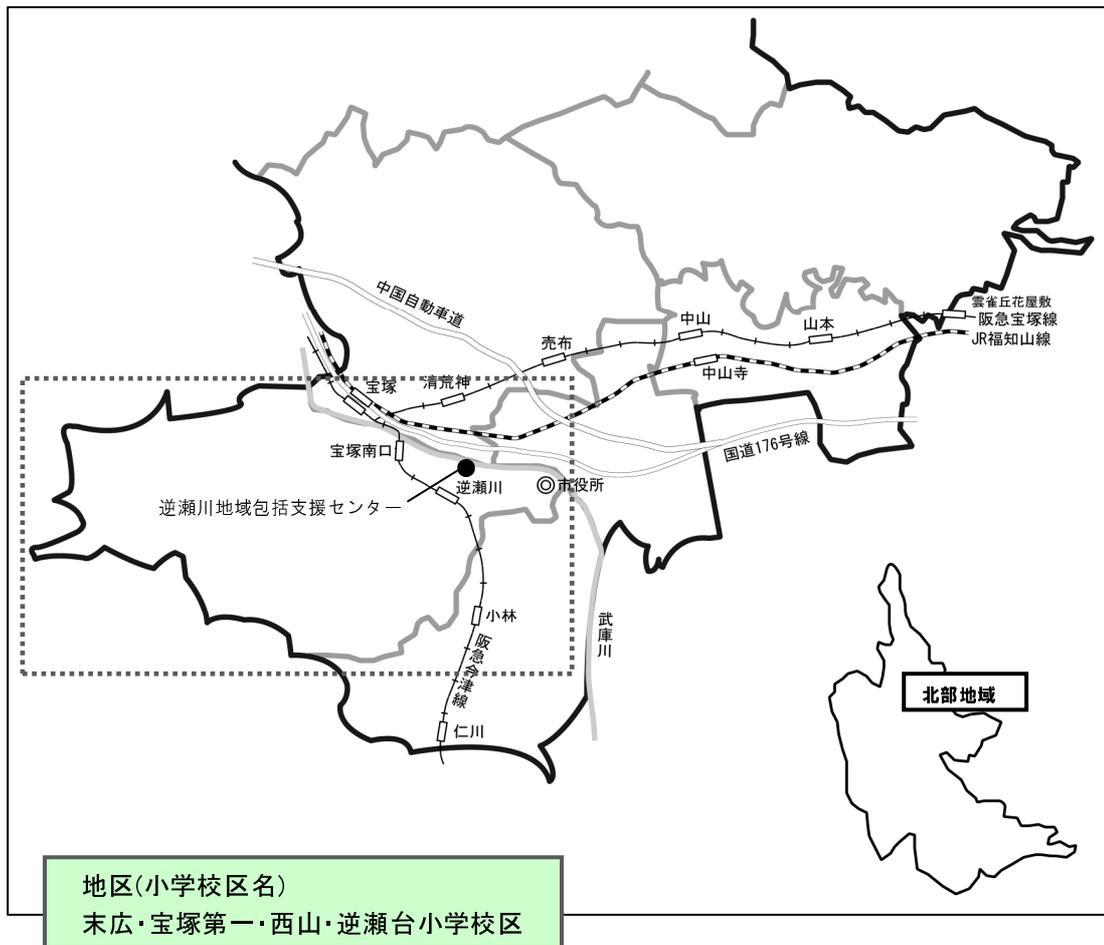
《地域の概要》

第2ブロックは、本市西部の武庫川右岸に広がる阪急今津線沿線の地域であり、阪急今津線の西側の丘陵地は、自然豊かな閑静な住宅地となっている。

本市人口の2割を占める最も人口の多い地域であるとともに、本市高齢者人口の23.3%（うち後期高齢者25.1%）を占める高齢者人口の最も多い地域である。

高齢化率は、26.0%と市の平均を4ポイント上回っており、17.6%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図 1-21 第2ブロック位置図



◆高齢者の人口等(第2ブロック)

項目	第2ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	45,636 人	232,524 人	19.6%
65 歳以上人口	11,886 人	51,066 人	23.3%
前期高齢者	5,955 人	27,424 人	21.7%
後期高齢者	5,931 人	23,642 人	25.1%
高齢化率	26.0%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	13.0%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	2,087 人	8,767 人	23.8%
認定率	17.6%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が24.4%、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が、59.9%といずれも市平均を上回っている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は、75.9%で、一方、介護・介助が必要な高齢者は、13.9%と、高齢化率の高い地域であるが、元気な高齢者が比較的多い地域である。

8割以上の高齢者は、健康であることを自覚し、9割近くが週1回以上、外出しており、趣味を持つ高齢者が多い。

一方、一人暮らしや高齢者夫婦世帯が多く、一層のサロン活動や地域活動への参加促進を図り、支え合いや心身の健康維持に資する活動を活発化していくことが必要である。

◆高齢者の特徴(第2ブロック)

項 目		第2ブロック (N=431)	市全体 (N=2,905)	項 目		第2ブロック (N=431)	市全体 (N=2,905)
家族・ 住居	一人暮らしの割合	24.4%	22.9%	介助・ 介護の 必要度	介助・介護を必要としない割合	75.9%	71.1%
	一人暮らしを除く 2人世帯の割合	59.9%	53.6%		介助・介護を必要とする割合	13.9%	16.2%
	持ち家率	76.3%	79.3%		通院の介助の必要性	8.0%	12.2%
健康 状況	健康と思う割合	81.7%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	88.9%	86.6%
	家事のできる割合	79.1%	76.0%		外出を控えている割合	20.2%	25.6%
	通院している割合	78.2%	77.4%		昨年と比べて外出回数 が減っている割合	30.6%	34.0%
地域 活動	地域活動等に参加 している割合	46.9%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	16.7%	16.9%
	地域活動等に参加 していない割合	45.7%	41.8%		趣味を持つ割合	84.7%	80.4%
					いきがいを 持つ割合	77.7%	77.9%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成23年6月実施）

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第2ブロック)

種 別		施設名(定員数)
地域密着 型サービス	小規模多機能型居宅介護	—
	認知症対応型共同生活介護	・グループホーム はる逆瀬川(18) ・グループホーム アンジェリカ(18)
	認知症対応型通所介護	・宝塚栄光園デイサービスセンター(10)
	夜間対応型訪問介護	—
施設・居住 系サービス	介護老人福祉施設サービス	・宝塚栄光園(70)
	介護老人保健施設サービス	—
	介護療養施設サービス	—
	特定施設入居者生活介護	・宝塚エデンの園(551) ・サンシティ宝塚(380) ・グランダ逆瀬川・宝塚(66)

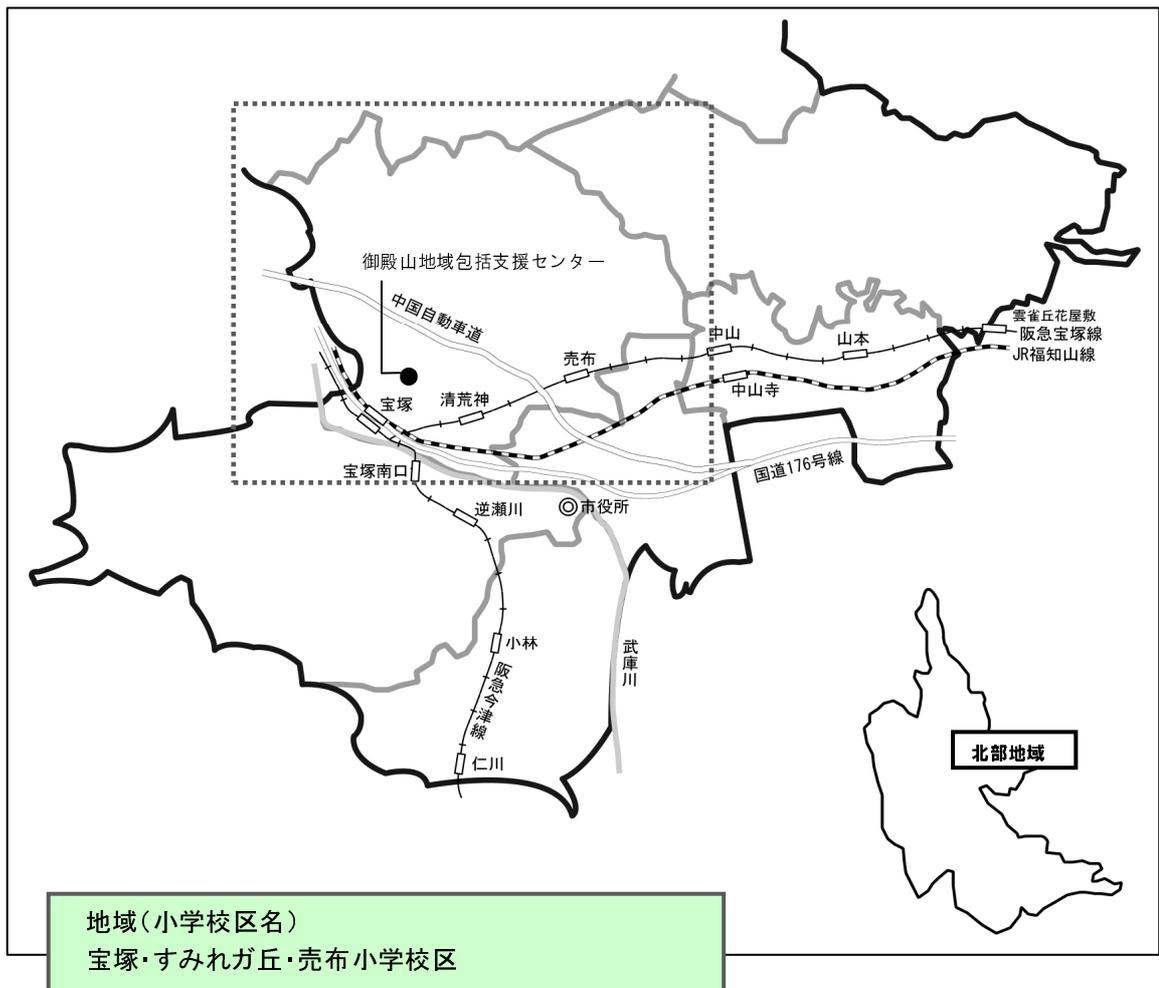
ウ 第3ブロック

《地域の概要》

第3ブロックは、商業・業務、観光・文化施設が集積する本市の中心市街地を含む地域であり、平坦部は住商混在地区、丘陵部は住宅地区となっている。

本市人口の16.9%、本市高齢者人口の15.5%を占め、高齢化率は、20.1%と市の平均を2ポイント下回っており、17.8%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図 1-22 第3ブロック位置図



◆高齢者の人口等(第3ブロック)

項目	第3ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	39,357人	232,524人	16.9%
65歳以上人口	7,897人	51,066人	15.5%
前期高齢者	4,045人	27,424人	14.7%
後期高齢者	3,852人	23,642人	16.3%
高齢化率	20.1%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	9.8%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	1,404人	8,767人	16.0%
認定率	17.8%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が24.5%、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が、59.1%といずれも市平均を上回っている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は、73.4%で、一方、介護・介助が必要な高齢者は、16.4%となっている。

8割近くの高齢者は、健康であることを自覚し、9割近くが週1回以上、外出しているが、外出を控えがちな高齢者が比較的多くなっている。

◆高齢者の特徴(第3ブロック)

項 目		第3ブロック (N=433)	市全体 (N=2,905)	項 目		第3ブロック (N=433)	市全体 (N=2,905)
家族・ 住居	一人暮らしの割合	24.5%	22.9%	介助・介護の 必要度	介助・介護を必要としない割合	73.4%	71.1%
	一人暮らしを除く 2人世帯の割合	59.1%	53.6%		介助・介護を必要とする割合	16.4%	16.2%
	持ち家率	82.2%	79.3%		通院の介助の必要性	12.4%	12.2%
健康 状況	健康と思う割合	76.0%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	87.8%	86.6%
	家事のできる割合	78.3%	76.0%		外出を控えている割合	29.6%	25.6%
	通院している割合	79.9%	77.4%		昨年と比べて外出回数が減っている割合	35.8%	34.0%
地域 活動	地域活動等に参加している割合	46.5%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	14.5%	16.9%
	地域活動等に参加していない割合	48.7%	41.8%		趣味を持つ割合	81.5%	80.4%
					いきがいを持つ割合	80.4%	77.9%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成23年6月実施）

一人暮らしの高齢者世帯も多く、高齢者の閉じこもり予防とともに、地域活動やボランティア活動などを促進していくことが必要である。

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第3ブロック)

種 別		施設名(定員数)
地域密着 型サービス	小規模多機能型居宅介護	・小規模多機能型居宅介護「せせらぎ」(25)
	認知症対応型共同生活介護	・グループホーム「かわも」(18)
	認知症対応型通所介護	・児玉診療所デイサービス「のどか」(24) ・デイサービスセンターたちばな(10) ・特定非営利活動法人めふのお家(8)
	夜間対応型訪問介護	-
施設・居住 系サービス	介護老人福祉施設サービス	・夢御殿山(80) ・星花苑(50)
	介護老人保健施設サービス	-
	介護療養施設サービス	-
	特定施設入居者生活介護	-

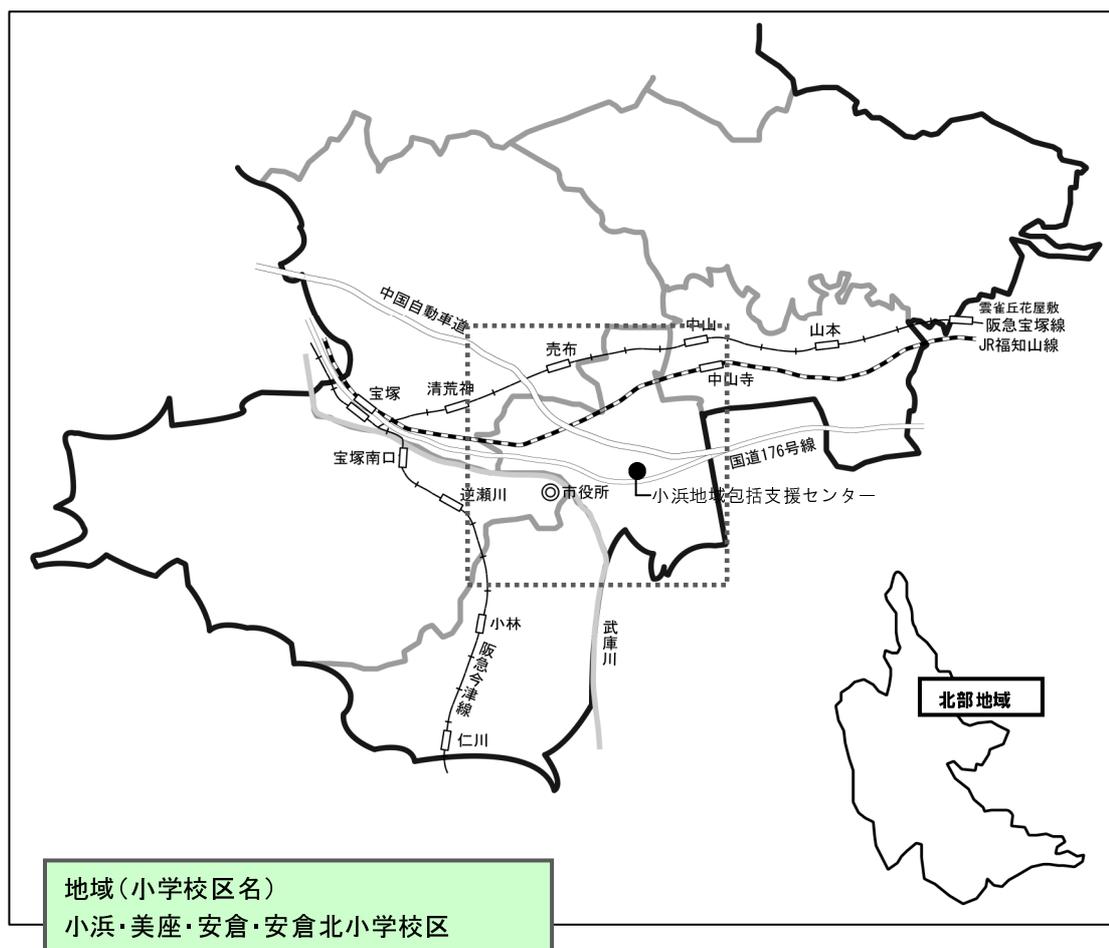
エ 第4ブロック

《地域の概要》

第4ブロックは、武庫川左岸の平坦な地域であり、一戸建て、集合住宅、商業施設が混在する古くから市街地が形成された地域である。宝塚市立病院や総合福祉センターなどの公共施設が立地する地域である。

本市人口の14.4%、本市高齢者人口の13.6%を占め、高齢化率は、20.7%と市の平均を1.3ポイント下回っており、17.4%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図 1-23 第4ブロック位置図



◆高齢者の人口等(第4ブロック)

項目	第4ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	33,483人	232,524人	14.4%
65歳以上人口	6,938人	51,066人	13.6%
前期高齢者	3,970人	27,424人	14.5%
後期高齢者	2,968人	23,642人	12.6%
高齢化率	20.7%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	8.9%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	1,205人	8,767人	13.7%
認定率	17.4%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が 26.3%と市平均を上回り、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が、54.1%となっている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は、66.3%で、一方、介護・介助が必要な高齢者は、20.5%となっており、介助・介護を必要とする高齢者の割合が高くなっている。

9割近くが週1回以上、外出しているが、健康であると自覚する高齢者は7割と市平均より6.5ポイント低く、外出を控えている高齢者や外出回数が減少する高齢者が他地域に比して多くなっている。また、いきがいを持つ高齢者は、7割にとどまり、市平均より、7.9ポイント低くなっている。

一人暮らしの高齢者も多く、地域の見守り活動を促進するとともに、高齢者の閉じこもり予防といきがいづくり活動を活発化していくことが必要である。

◆高齢者の特徴(第4ブロック)

項目		第4ブロック (N=410)	市全体 (N=2,905)	項目		第4ブロック (N=410)	市全体 (N=2,905)
家族・住居	一人暮らしの割合	26.3%	22.9%	介護・介助の 必要度	介護・介護を必要としない割合	66.3%	71.1%
	一人暮らしを除く2人世帯の割合	54.1%	53.6%		介護・介護を必要とする割合	20.5%	16.2%
	持ち家率	72.2%	79.3%		通院の介助の必要性	13.7%	12.2%
健康状況	健康と思う割合	70.0%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	88.0%	86.6%
	家事のできる割合	72.7%	76.0%		外出を控えている割合	30.2%	25.6%
	通院している割合	78.3%	77.4%		昨年と比べて外出回数が減っている割合	39.5%	34.0%
地域活動	地域活動等に参加している割合	45.3%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	17.8%	16.9%
	地域活動等に参加していない割合	47.8%	41.8%		趣味を持つ割合	73.7%	80.4%
						いきがいを持つ割合	70.2%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成23年6月実施）

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第4ブロック)

種別		施設名(定員数)
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	・オアシス宝塚小規模多機能型居宅介護(25)
	認知症対応型共同生活介護	・ラビアンローズ宝塚(27)
	認知症対応型通所介護	・グループホームたのしい家中山寺(18)
	夜間対応型訪問介護	—
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設サービス	・宝塚まどか園(100)
	介護老人保健施設サービス	・ステップハウス宝塚(84)
	介護療養施設サービス	—
	特定施設入居者生活介護	・養護老人ホーム 福寿荘(50)

オ 第5ブロック

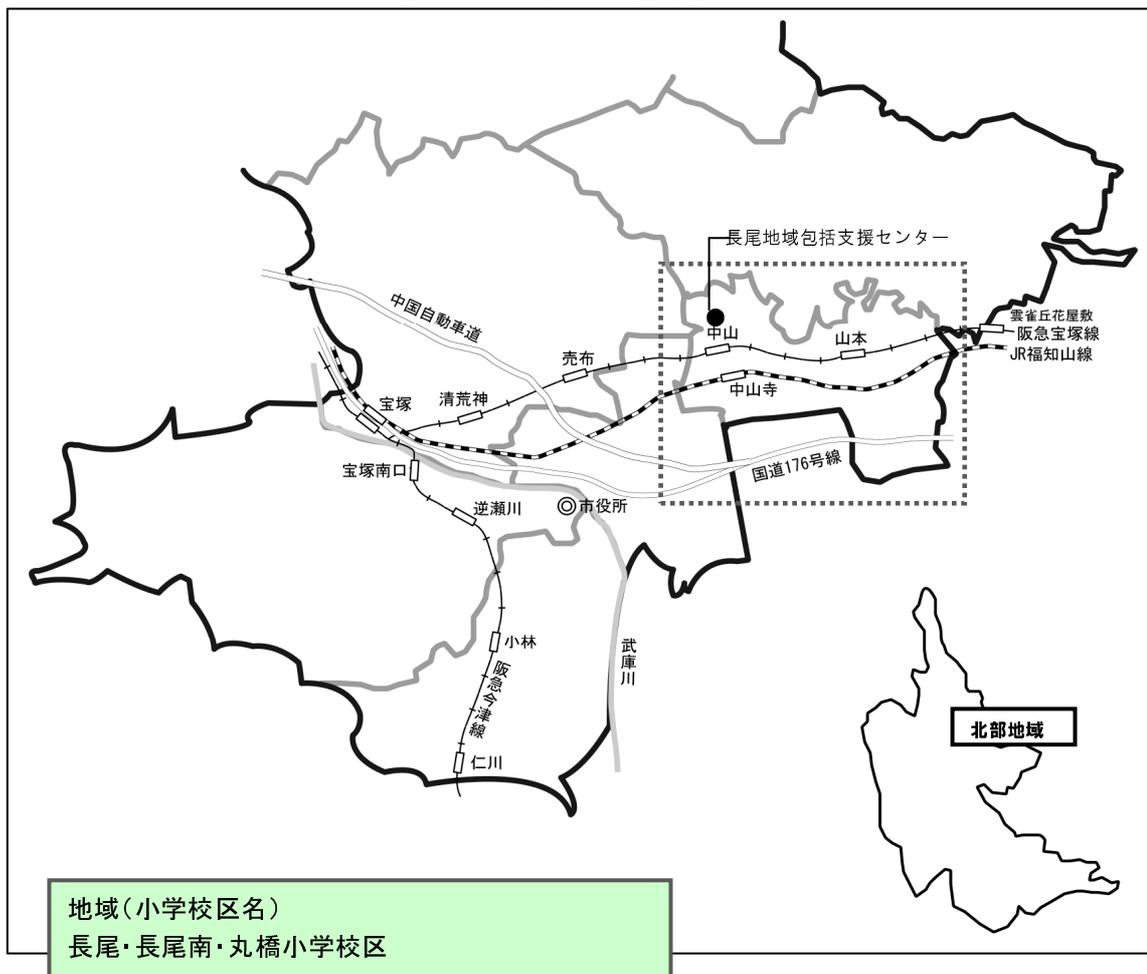
《地域の概要》

第5ブロックは、本市東部のJR宝塚線及び阪急宝塚線沿線の地域であり、南斜面丘陵地、平坦部田園地域に住宅地を形成している。

本市人口の16.6%、本市高齢者人口の11.5%を占め、高齢化率は、15.3%と市の平均を6.7ポイント下回る最も高齢化率の低い地域である。

また、要介護（要支援）認定者も16.0%と市平均を1.2ポイント下回っており、元気な高齢者が比較的多い地域となっている。

図 1-23 第5ブロック位置図



◆高齢者の人口等(第5ブロック)

項目	第5ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	38,508人	232,524人	16.6%
65歳以上人口	5,888人	51,066人	11.5%
前期高齢者	3,405人	27,424人	12.4%
後期高齢者	2,483人	23,642人	10.5%
高齢化率	15.3%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	6.4%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	942人	8,767人	10.7%
認定率	16.0%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が 19.1%、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が 51.5%と、市平均を下回っており、比較的家族構成の多い地域となっている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は 75.2%で、一方、介護・介助が必要な高齢者は、13.5%となっており、元気な高齢者が多い。

◆高齢者の特徴(第5ブロック)

項目		第5ブロック (N=408)	市全体 (N=2,905)	項目		第5ブロック (N=408)	市全体 (N=2,905)
家族・住居	一人暮らしの割合	19.1%	22.9%	介護・介助の 必要度	介護・介助を必要としない割合	75.2%	71.1%
	一人暮らしを除く 2人世帯の割合	51.5%	53.6%		介護・介助を必要とする割合	13.5%	16.2%
	持ち家率	78.4%	79.3%		通院の介助の必要性	9.2%	12.2%
健康状況	健康と思う割合	75.7%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	89.2%	86.6%
	家事のできる割合	80.9%	76.0%		外出を控えている割合	23.3%	25.6%
	通院している割合	77.5%	77.4%		昨年と比べて外出回数が減っている割合	35.0%	34.0%
地域活動	地域活動等に参加している割合	49.3%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	18.4%	16.9%
	地域活動等に参加していない割合	44.1%	41.8%		趣味を持つ割合	80.9%	80.4%
					いきがいを持つ割合	81.4%	77.9%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」(平成 23 年 6 月実施)

他地域に比して仕事を持つ高齢者やいきがいを持つ高齢者が多く、9割近くが週1回以上、外出している。

比較的元気な高齢者が多い地域であり、その知識や能力を還元できる地域活動やボランティア活動などを促進していくことが必要である。また、介護予防*活動や健康づくりの促進等により、健康の維持向上を図ることが必要である。

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第5ブロック)

種別	施設名(定員数)	
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	—
	認知症対応型共同生活介護	—
	認知症対応型通所介護	・はーとふるセゾン宝塚(27) ・アミュー宝塚山本(27)
	夜間対応型訪問介護	—
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設サービス	・宝塚あいわ苑(60)
	介護老人保健施設サービス	・エスペランサ(140)
	介護療養施設サービス	—
	特定施設入居者生活介護	—

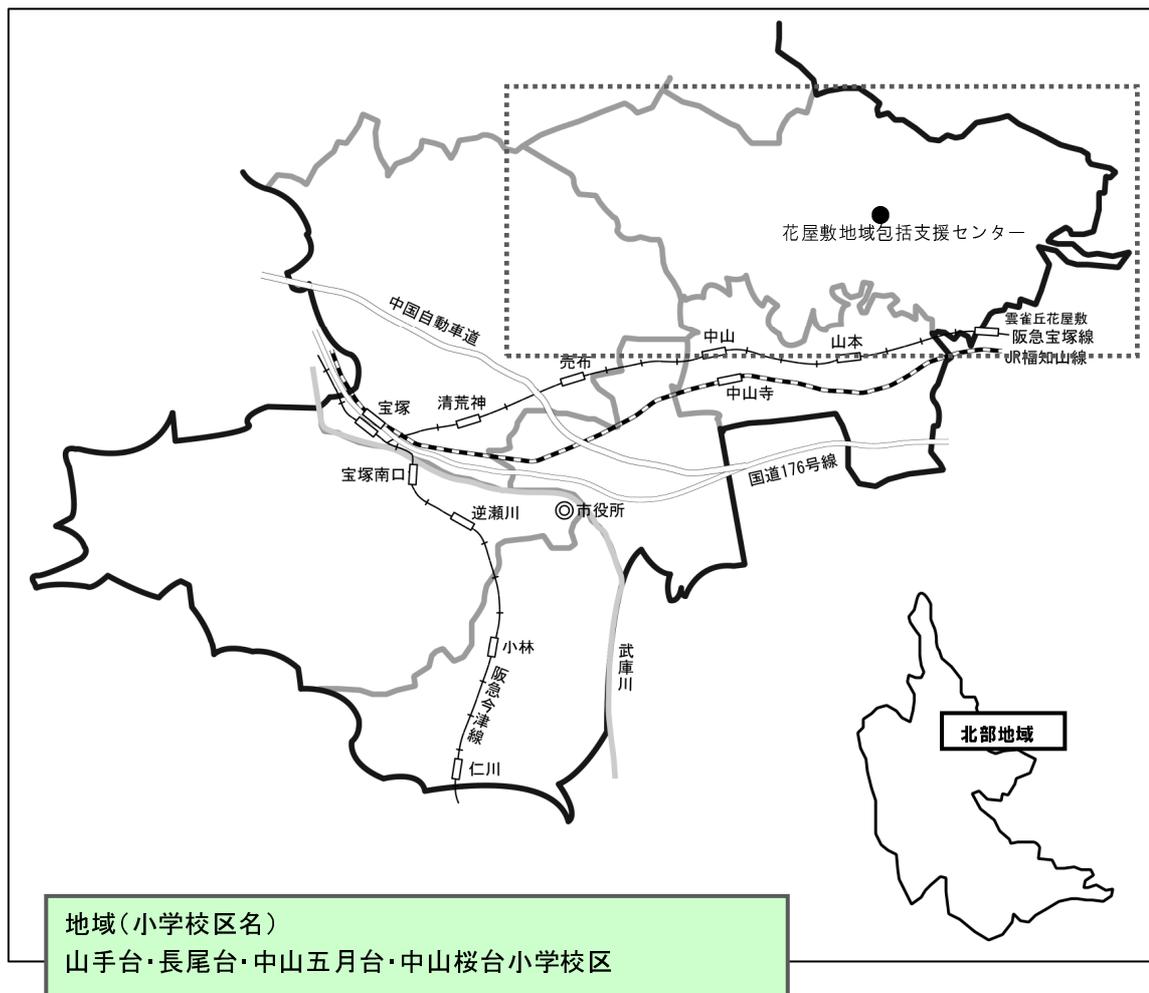
カ 第6ブロック

《地域の概要》

第6ブロックは、本市北東部のJR宝塚線及び阪急宝塚線沿線の地域であり、丘陵地に閑静な住宅地を形成している。

本市人口の12.8%、本市高齢者人口の14.5%を占め、高齢化率は、24.9%と市の平均を2.7ポイント上回っており、16.1%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図 1-24 第6ブロック位置図



◆高齢者の人口等(第6ブロック)

項目	第6ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	29,871人	232,524人	12.8%
65歳以上人口	7,425人	51,066人	14.5%
前期高齢者	4,166人	27,424人	15.2%
後期高齢者	3,259人	23,642人	13.8%
高齢化率	24.9%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	10.9%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	1,194人	8,767人	13.6%
認定率	16.1%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が23.7%、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が58.9%と、市平均を上回っている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は77.2%で、一方、介護・介助が必要な高齢者は、12.7%となっており、比較的高齢者が多い。

8割の高齢者は、健康であることを自覚し、趣味やいきがいを持つ高齢者が多く、9割以上が週1回以上、外出している。また、他の地域に比して、自治会や祭り・行事などの地域活動に参加する高齢者も多い。

高齢化率の高い地域であるが元気な高齢者として活躍していくよう、一層の地域活動やボランティア活動などを促進していくとともに、介護予防への意識啓発と推進を図っていくことが必要である。

◆高齢者の特徴(第6ブロック)

項目		第6ブロック (N=426)	市全体 (N=2,905)	項目		第6ブロック (N=426)	市全体 (N=2,905)
家族・ 住居	一人暮らしの割合	23.7%	22.9%	介護・ 介助の 必要度	介護・介護を必要としない割合	77.2%	71.1%
	一人暮らしを除く 2人世帯の割合	58.9%	53.6%		介護・介護を必要とする割合	12.7%	16.2%
	持ち家率	84.7%	79.3%		通院の介護の必要性	10.2%	12.2%
健康 状況	健康と思う割合	80.5%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	91.3%	86.6%
	家事のできる割合	80.5%	76.0%		外出を控えている割合	22.1%	25.6%
	通院している割合	76.3%	77.4%		昨年と比べて外出回数が減っている割合	28.4%	34.0%
地域 活動	地域活動等に参加している割合	55.7%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	17.1%	16.9%
	地域活動等に参加していない割合	40.8%	41.8%		趣味を持つ割合	87.6%	80.4%
					いきがいを持つ割合	81.7%	77.9%

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」(平成23年6月実施)

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第6ブロック)

種別	施設名(定員数)
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護 ・小規模多機能型ホーム中山ちどり(25)
	認知症対応型共同生活介護 ・グループホーム中山ちどり(18)
	認知症対応型通所介護 ・サポートハウス中山ちどり(10) ・花屋敷デイサービスセンター(12) ・アクティブライフ中山倶楽部(12)
	夜間対応型訪問介護 ・中山ちどりヘルパーステーション
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設サービス ・花屋敷栄光園(108) ・ケアホーム中山ちどり(100)
	介護老人保健施設サービス -
	介護療養施設サービス ・雲雀丘クリニック(8)
	特定施設入居者生活介護 ・サンビナス宝塚(112) ・ケアハウス中山ちどり(60)

キ 第7ブロック

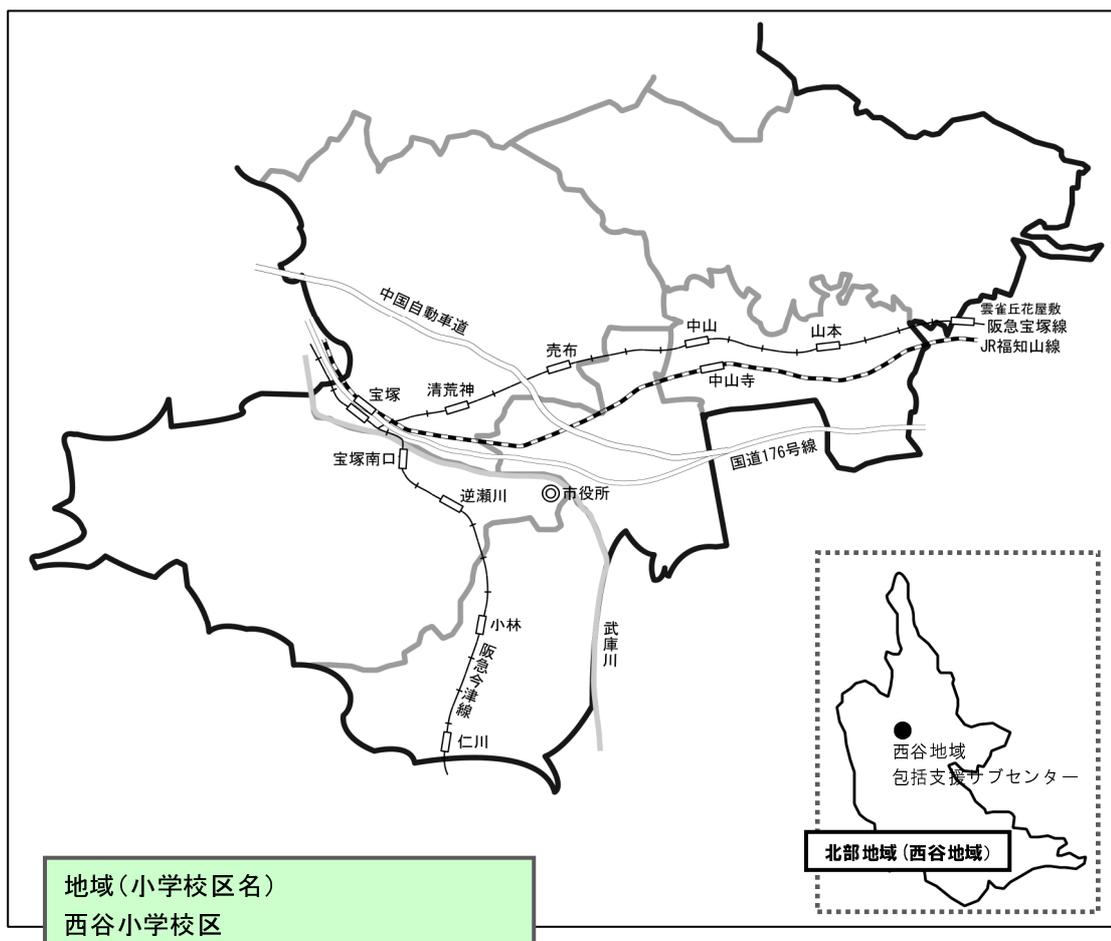
《地域の概要》

本市北部の西谷地域は、市域面積の70%を占める自然豊かな地域であるとともに、都市近郊の農業地域である。

地域の人口は2,899人と本市の1.2%、高齢者人口は1.8%であるが、高齢化率は、31.5%と市の平均を9.5ポイントも上回る市内で最も高齢化の進んだ地域となっている。

地域の高齢者の19.9%が要介護（要支援）の認定を受けている。

図 1-25 第7ブロック位置図



地域(小学校区名)
西谷小学校区

◆高齢者の人口等(第7ブロック)

項目	第7ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人口	2,899人	232,524人	1.2%
65歳以上人口	913人	51,066人	1.8%
前期高齢者	433人	27,424人	1.6%
後期高齢者	480人	23,642人	2.0%
高齢化率	31.5%	22.0%	—
後期高齢者・高齢化率	16.6%	10.2%	—
要介護(要支援)認定者数	182人	8,767人	2.1%
認定率	19.9%	17.2%	—

《高齢者の特徴》

家族構成は、「一人暮らし」が 13.9%、高齢者夫婦世帯等の「二人世帯」が 32.8%と、市平均を大きく下回っており、子どもとの同居など家族構成の多い地域となっている。

介護・介助を必要としない元気な高齢者は 59.7%で、一方 介護・介助が必要な高齢者は、20.7%と介護・介助が必要な高齢者が多い。

◆高齢者の特徴(第7ブロック)

項 目		第7ブロック (N=352)	市全体 (N=2,905)	項 目		第7ブロック (N=352)	市全体 (N=2,905)
家族・ 住居	一人暮らしの割合	13.9%	22.9%	介助・ 介護の 必要度	介助・介護を必要としない割合	59.7%	71.1%
	一人暮らしを除く 二世帯の割合	32.8%	53.6%		介助・介護を必要とする割合	20.7%	16.2%
	持ち家率	85.2%	79.3%		通院の介助の必要性	21.0%	12.2%
健康 状況	健康と思う割合	76.5%	76.5%	外出の 状況	週1回以上外出する割合	69.9%	86.6%
	家事のできる割合	63.1%	76.0%		外出を控えている割合	29.0%	25.6%
	通院している割合	73.0%	77.4%		昨年と比べて外出回数が減っている割合	34.7%	34.0%
地域 活動	地域活動等に参加している割合	73.0%	52.0%	仕事・ 趣味等	仕事を持つ割合	18.5%	16.9%
	地域活動等に参加していない割合	20.5%	41.8%		趣味を持つ割合	75.3%	80.4%
					いきがいを持つ割合	77.6%	77.9%

8割近くの高齢者は、健康であることを自覚しつつも、週1回以上外出する割合は、7割程度にとどまり、外出を控えている高齢者が他地域に比して多くなっている。

一方、仕事を持つ高齢者が他地域に比して多いとともに、自治会や祭り・行事などの地域活動に、7割以上が参加しており、市平均を 20 ポイントも上回っている。

高齢化が進展している地域であり、互助の精神を発揮しつつ、高齢者の見守り活動を展開するとともに、高齢者の閉じこもり予防といきがいづくり活動を活発化していくことが必要である

なお、当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

◆地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第7ブロック)

種 別		施設名(定員数)
地域密着 型サービス	小規模多機能型居宅介護	—
	認知症対応型共同生活介護	—
	認知症対応型通所介護	—
	夜間対応型訪問介護	—
施設・居住 系サービス	介護老人福祉施設サービス	・宝塚シニアコミュニティ(90)
	介護老人保健施設サービス	・西谷憩いの家(100)
	介護療養施設サービス	—
	特定施設入居者生活介護	—